

zone@学科製図.com です。

平成 21 年度製図試験「貸事務所ビル」の合格者の声をまとめましたのでサイトアップします。不合格者の方々の声は別にまとめます。多くの学びがここにあります。是非ご参考ください。なお合否だけをお教えいただいた方は割愛させていただきました。また今年は送っていただいた順に掲載いたしました。

■ランク1 ■全 72 名の声。

■兵庫県 2 回目 前半戦からの通信添削生 学科製図.com のみ 再現図アリ 30 代 男性 O 型

★通信添削コースは前半戦から申し込んでいましたが、仕事が忙しかったため提出したのは最初の課題だけで、勉強のペースとしては順調とは言えませんでした。課題内容の発表後の通信添削コースの後半戦では毎回締切には間に合うように課題に取り組みました。最初の方は初歩的なミスも多く、即失格の図面も描いておりその後徐々に安定していきましたが、直前のシンクロ二模試では、またもや一発失格。ただ失格ではあったのですが、余裕をもって模試にとりくむことができたため最後の一週間は比較的落ち着いて臨めました。通信添削コースだけでは問題数が少なく心許なかったので実践課題の 4 つ、基本課題の 4 つにも通信添削と並行して取り組みました。また、私は学科製図.com のみの利用だったのですが一応、2つの資格学校の問題集は購入しておいたので、試験の 2 週間前ぐらいから集中的に毎日エスキースとフリーハンド図面をかいてました。最後の一週間はとくに全 29 課題について、ちびコマプランとコア図面 1/200 をフリーハンドでかきメモを作成しましたが、最後は時間切れで、描きっぱなしでおわってしまい十分な復習ができないまま試験には臨みました。

勝因としては去年よりはちゃんと勉強したということぐらいしかありません。自分としてはとても満足のいく状況ではなかったですね。

● 自分の勉強してきたことは総動員してやろうとしたことでしょうか。冷静さを欠き、結果的には自分の力の半分ぐらいしか力が出せなかったと思います。その中でも、これまでおかした失格項目だけは踏まないように十分に注意し、普段やってきた「ポイントの抽出」にもとづいて最後までひとつひとつチェックしながら積み上げていった結果が合格に結びついたのだと思います。

◆ 正直、試験後は合格してるとは全然思えませんでした。かすかなというか希望が見えてきたのは再現図の添削結果を見てからでしょうか。思いのほか、高得点をいただき順位も上位であったので、相対試験であることからこれも受かっているかもと期待を持つようになりそして本日の合格発表を迎えたという状況です。

職業柄持っていないと少し肩身の狭い職場なので取りあえず肩の重荷がとれてよかったです。ただ自分としては納得はいいないので、できなかったところはきっちり勉強したいと思います。

また私事で恐縮ですが、1 月に結婚を控えており結婚前にとれたということも すっきりできて良かったです。

◎ 通信添削後半コース(シンクロ二模試込み)

満足度 = まあ、この程度の内容ならよいと思う

来期へのご要望 = 防災設備など設備の設計の内容も強化してもらえると盤石かと思います。気持ち的に。結果的には合格できましたが、(学科製図.com では)防災設備はほぼノーマークであったため試験後は減点がどれくらいなのか大変不安でした。実際はあまり減点はなかったのでしょうか？採点基準が不明なのでどこまでやっておけば良いのかつかみどころがない中でしたのでなんとも言えない部分もありますが。

<zone>自分自身の学習方法や方針が確立できた上での合格おめでとうございます。防災設備に関しては、消防法の範囲でもあり、2 ヶ月間という試験勉強中ではあまり深入りしない方がいいと思っていた次第です。h22 からは最低限、最小限の防災知識は加えていこうと考えています。

■千葉県 2 回目 アイテム購入者 資格学校のみ 講習会参加アリ 20 代 男性 A 型

★ 3 月で会社を辞め、製図試験の為にすぐ転職せず浪人した事が一番大きい。8 月から資格学校に通ったが、自己勉強の期間中に学科製図.com の講習会に(GW等)参加し講師の方々、特に MARIA 先生には気持ちが弛んでると活を入れてもらうなど精神面で大変にお世話になりました。

資格学校の本に絞らず、学科製図.com との両方で学習してきた事が、価値観の違う「設計製図試験」の特徴を捉える要因だったと考えます。

● 資格学校の講師の授業を鵜呑みにせず、自分の力で設計手法を編み出し、事前に計画における「優先順位の当たり」を付けていたのが成功しました。

資格学校や学科製図.com の講習会やメルマガの情報などを参考にして、「イイ計画とダメ計画」の物差しが構築できていたので、試験時間中にトイレに立つ程度の心の余裕ができたのが勝因かなと考えます。

◆ 試験終了の瞬間は、やり切った達成感がありましたが、時間が経つにつれ不安と後悔で夢でうなされる事もありました。本当

に合格できて良かった。これで堂々と転職活動に励む事ができます。試験は終わっても建築士として舞台上に上がっただけ、これから精進し世のため人のために腕を揮っていきたいと思います。

◎GW講習会

<zone>発見すること、見いだすことが大切な試験です。その方法論をつかむプロセスがわかれば、次のステップに進むことに大きな意味が出てくると思います。合格おめでとうございます。

■大阪府 2 回目 後半戦通信添削生 資格学校+学科製図.com 30 代 男性 O 型

★ 去年の試験でいつもと違う文面や内容があり、うろたえて頭が真っ白になった経験から色々な問題に触れ、精神面とどんな設計内容でも耐えうるエスキース力の2本立てで取り組むことに徹していました。

資格学校と学科製図.com の内容の違いを確認しながら、様々な出題の可能性をつぶしていき、心に少しでも余裕を作ることができたことが勝因のような気がします。

● 学科製図.com や資格学校の学習プランを参考にしながら学習プランを自分で考え、全てやり尽くしもうこれ以上やれることは無いと思える気持ちで挑めました。

◆ 去年の悔しさが払拭できてうれしいです。これに尽きます。本当にありがとうございました。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

<zone>差異を読む。これはこの試験でも重要な合格の極意です。それを体現されたことが大きかったのではないのでしょうか。合格おめでとうございます。

■京都府 2 回目 後半戦通信添削生 学科製図.com のみ 20 代 男性 O 型

★ 勝因については、以下に尽きと思う。

・貸事務所ビルという単純な課題であったこと(暗記事項が少なく、網羅しやすかった)

・1 課題につき数種類のエスキースを行い、さらに他の人の図面を見ることで得られた計り知れない経験値

以下は、去年からの学習方法

一昨年、一足先に会社の先輩が合格した際に、学科製図.com の書籍を譲ってもらい、その時初めて学科製図.com について知った。もらった本は、もちろん熟読した。

昨年が製図初受験で資格学校に通っていた。資格学校の課題では、パズルのような課題が多く、計画の原則的なことはあまり触れられていなかった。添削については、要求事項が抜けているかどうかに終始しているように感じられた。課題をこなすにつれて、どんな課題が来ても大体エスキースが2時間以内に終わることができるようになり、遅かった製図も3時間半でぎりぎり描き終わるまでにはなっていた。

そして迎えた1回目の試験当日、基準階のプランで時間を浪費し、あせって1, 2階もうまく収められず、不合格(ランク2)となった。敗因は、エスキースは2時間で終わるとい思い込みおごりと製図の遅さによる書き込み不足だと思う。

今年は、課題が「貸事務所」と分かった段階で、プランが簡単であり図面の分量も少ないだろうと予想できたので、絶対今年で終わらせようと強く思った。また、事務所ビルについて学校で習うほどのこともないし、去年を振り返っても通って得られるものはないだろうと判断した。

そこで、書籍の内容に説得力を感じていた学科製図.com の添削課題に取り組む決心をした。

添削課題については、どの課題も3通り以上のエスキースを行い、最もよいだろうと思われるものを製図し提出した。この結果、後半の課題においてはおおむね良い評価を得られたため大変自信がついた。

それでも添削で指摘された項目については、無意識に何度も繰り返してしまう様に思われたため、試験直前には文章で紙に書き出し何度も読んだ。課題ごとにアップされる添削例については、ほぼすべてについて指摘されている事項を抽出し、構造、設備などの分野ごとに整理しなおし文章化した。

最後に、添削図(自他共に)、解答例を基に、より減点の少ない完全な解答を目指してエスキースを行った。

(より高みを目指さない限り目標には到達しないという信念から)

遅かった製図は、A3の方眼紙に描いてみて早い段階で問題ないようになっていた。これも単純な平面プランであり何度もエスキースを見直す必要がないからだったのだろう。製図の心配をしなくてよかったのは大変大きかった。

● 当日の勝因

・課題自体が簡単であったこと

・エスキースは1/200のものを1階のみ描き、頭の中で縮尺の変換を行わないようにした。

・躊躇なく片コアラメン構造を選択したこと。
・多くの添削図を見ていた結果、減点されるかどうかは瞬時に判断できる(つもり)になっていたこと
エスキースは添削課題の時から毎回、まず 1/400 でラフに描き、1/200 でやや丁寧に書き直していた。
これは、頭の中で縮尺を変換せずに済み、効率よく製図ができるので個人的には大変気に入っていた。
こんなことができたのも、課題が事務所ビルで考えることが少なく、エスキース用紙が余っていたからだと思う。また、添削課題ではすべてにおいて純ラーメン構造を選択していたため、少なからず同志がいると思えたのも大きかった。

当日のタイムスケジュール

5分 読解、周辺環境により片コア SRC 純ラーメンにほぼ絞る。

60分 片コアプランで矛盾点が生じないが、見落としがないか再度確認する。

(そんなはずはないと自分に何度も言い聞かせる)

90分 見落としが見つからないためプラン確定

(計画の要点記入 約 60 時間)

150分 計画の要点終了(思いつくことを欄内にびっしり埋めてやった)

(文字、外構、家具等以外の製図 約 120 分)

270分 文字等の書き込みをしながら最終確認

(書き込み兼見直し 約 90 分)

390分 試験終了

◆ たたただホッとしました。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

来期へのご要望 = スケジュールが守られないことだけが残念です。遅れるならば、どのくらい遅れるかは随時知らせてほしい。
(やきもきた)

<zone>合格おめでとうございます。h21 は制度改正、10 年振りのオフィスビル課題ということもあり、資料作成は本当に後手後手に回りました。出題レベルとしてはいいものをキープできましたが、スケジュールがボロボロだったことは本当にご迷惑をおかけしました。今年は遅れることがある場合は、随時詳細にお知らせするようにします。

■ 神奈川県 2 回目 アイテム購入者 資格学校+学科製図.com 講習会参加アリ 再現図アリ 30 代 女性 O 型

★ 前年の敗因が、読み落としだったので、チェック体制が確立するよう努力しました。

ミスノートを作成したり、エスキースでのチェックを 3 回はするような手順を身につけました。

● エスキース手順が確立されすぎて、問題文の書き方の違いを当てはめることにキモチが焦りました。

無我夢中だったので、手が覚えていたこと以外には、勉強したことの半分も応用が出来なかった気がします。

◆ 同じように勉強して、励まし合った仲間が全員で合格できなかったことはとても悲しいです。

私が去年合格できなかったことで、今の自分があるように、もし今年不合格でも、合格できなかったからこそそのプラスの展開があるはず。頑張ってください。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

来期へのご要望 = 試験制度が変わって、初の試験が終わり、発表が終わり、これから配点の研究をされることと思います。どんな配点になったかがすこしでもわかれば、ぜひ知りたいです。

<zone>合格おめでとうございます。単なるなかよしくラブではない自主的な学習グループの存在は学科製図.com の誇りでもあります。配点に関してはしっかり分析させていただきます。

■ 広島県 5 回目以上 前半戦からの通信添削生 学科製図.com のみ 講習会参加アリ 再現図アリ 40 代 男性 O 型

★ 通信添削による学習により必ず合格できると信じていたこと。

● 例年、最初の30分ぐらいで結構パニック状態になっていたけど、今年は、割と冷静に問題文を読むことができていた感じ。

◆ 先生には本当にお世話になりました。実を言うとまだ信じられません。5年間ずっと不合格であったので、実感がわかない感じ。しかし、自分を励ましてくれたり、アドバイスしてくれたりした方々みなさんのおかげです。

けっして、自分だけの努力だけでは合格できない何かを感じます。それは、先生であり、一緒に勉強してくれた仲間であり、家族であり、両親であり、職場の方々であり、自分に関わってくれたすべての人々の力だと、本当に思います。

この通過点を素直に喜び、次の目標に向けてまた頑張ろうと思います。

余談ですが、久しぶりに国産ビールを我が家で頂きました。うれしいはずが、なんとも、しんみり、泣けてきました。子供はもっと喜べば、と言いますがどうも何とも言い難い感情が湧いてきます。先生3年間ありがとうございました。こんなメールで申し訳ありません。本当に、本当に、ありがとうございました。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

<zone>合格できていなかった経緯を知っているだけに私も感無量です。本当に合格おめでとうございました。これからは卒業生サイトでゆっくりいろんな話をしましょう。また、講習会後の懇親会などには是非ご参加いただければと思います。

■ 高知県 3 回目 後半戦通信添削生 学科製図.com のみ 再現図アリ 30 代 男性 A 型

★ 毎年の事ですが、エスキースから製図の一連の作業が出来る時間が全く取れませんでした。今年はその状況に甘んじる事無く割り切って勉強しました。

・平日 2hr 取れる日はエスキース(復習含め)

・休日 4hr 取れる日は製図(見直し含め)

・全く時間が無い日は、iphone に落とした zone 先生の解説を聞いて、各課題の分析を行いました。(音声解説とわかるエスキース読本を枕元において)

・テキスト(エスキース読本や構造・設備・鉄腕作図)や計画の要点、試験に使えるような仕事で作成したプロポーザル書類の切抜きはクリアポケットに入れてファイリングし、入浴しながら熟読しました。(茹で上がる事しばしばです)

・エスキース手順 STEP フローと鉄腕作図手順を自分なりにアレンジ。

・鉄腕作図 DVD でキャンベル先生の早く美しい作図のまねをする。

(先生のスピードや奇麗さを追いついてやるぞ!との意気込みでしたが、そこまでは無理でした。)

これらの繰り返しで、1 課題に対する可能性を探るクセがついたと思います。

(先生がよくおっしゃっていた 5 課題でも倍以上の経験を積むという)

以上のような積重ねが実を結ぶ事が出来たのかと思います。

● 僕の試験の山場は 3 度ほど訪れました。

1.地下駐車を立駐と勘違い(恐ろしい思い込みでしたが、気づけて良かった)

2.北西角の斜線 OUT を回避(当初カーテンウォールで計画していたが、僕のスパン割りでは当たる事に気づけた)

3.オープンスペース抜けに気づけた事(要求では、特になかったため、エントランスとカフェテラスで一体的に計画)

以上を含め、ポイントの抽出のおかげで細かいミスをほとんど拾い上げることが出来ました。

ただ、課題が自由過ぎて何でも有りだから、計画の要点でフォロー出来るとも感じました。

◆ 念願の一級建築士合格。

実は仕事が忙しすぎて、実感がまったく湧きません。でも、周りの人たちが自分以上に喜んでくれたので、本当に支えてくださった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。次の STEP へ向けて準備します。

◎ 後半戦通信添削 鉄腕作図 DVD

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

<zone>学科製図.com 自体は、新しい視点やコンテンツで今何が必要なのかを色々考えて作成していますが、そうやって作った教材(鉄腕作図 DVD)を活用してもらえて本望です。合格おめでとうございます。

■ 和歌山県 2 回目 後半戦通信添削生 学科製図.com のみ 再現図アリ 20 代 男性 O 型

★ 昨年は、製図試験初挑戦と言うこともあり、右も左も分からない状態だったため、資格学校に通いいろいろとノウハウを教してもらいました。結果時間内に書き上げることはできたもののランク3でした…今年から制度が大幅に変更されるため不安はあったのですが、資金、時間やしつこい勧誘等から資格学校はやめ自分でやる決意をした中で学科製図.com に出会いました。まずエスキースアプローチとわかるエスキースをみて去年学校ではまったく教わらなかったエスキースの手順を丁寧に解説してありこれだと思いました。また通信添削では自分の添削はもちろんのこと、他の通信添削生の方の添削図を公開して頂き大変参考になりました。そして情報錯綜する中、学科製図.com さんの適確な分析により大きく道はずす事なく出来たと思います。

● 試験会場に 8:50 に着いてしまい、まだ会場の準備が行われていなかったため会場を間違えたのかと思いました。9:30 くらいからようやく試験管が到着し準備を始めました。いち早く会場に到着することで雰囲気は呑まれることなくいつもの自分のペースに持ち込めたと思います。

◆ 一級建築士の資格にはじめよう日々精進したいと思います。

◎ 通信添削 わかるエスキース エスキースアプローチ

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

来期へのご要望 = 会場での模試は添削せずに、解説や質疑応答のみとし図面は提出し後日返却とした方がよいと思います。(大阪会場にて参加しましたが、一時間程度で 20 人を添削し6時間30分かけた図面を「失格です」では正直凹みました。)
<zone>合格おめでとうございます。 私たちも大阪会場での添削は心が痛むんですが、でもね、1 週間先を見通すとそのタイミングで指導することが今でもベストだと思ってます。

■ 大阪府 初受験 後半戦通信添削生 学科製図.com のみ 30代 男性

★ 学科製図さんの系統だったプランニング方法はとても役に立ったと思います。テキストと添削指導をベースに、細かいことにはこだわらず要点を押えてできるだけシンプルなプランニングを心がけました。再現エスキースを資格学校の無料添削にお願いしたときは細かな減点が多く不安が大きかったのですが、結果としてはシンプルなプランニングを心がけたことが良かったのかなと感じます。課題に関しては、様々な視点からの出題に対処できるように、学科製図さんの課題に加え市販課題や資格学校の無料課題などを活用して適応力を磨くようにしました。また、そのように様々な課題を解き比べることで、出題者が何を意識して問題を作ってるのか何となく分かりましたし、出題者の意図を捉える癖もついたように思います。

● 練習の中でプランニングの手順を固めておくことが試験中のペース配分のキーポイントになったと思います。また、作図途中でつまらないミスに気付き手戻りもありましたが、練習の中で自分の作図時間を把握するように努めていたので、落ち着いて対処できました。

◆ とりあえずほっとしています。

◎ テキストでプランニング手順の基本を押え、添削の中で手順の修正をしていくという使い方が一番いいと思います。ただし、学科製図さんの課題だけでは見方が偏るので他業者などの課題も見ながら、状況適応力を身につけるのも大切だと思います。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

<zone>合格おめでとうございます。 学科製図.com をベースにいろんな課題でさらに思考を展開してもらえて光栄です。これからは新しいステップに向けてがんばってください。

■ 北海道 2回目 アイテム購入者 資格学校+学科製図.com 講習会参加アリ 30代 男性 A型

★ 新制度の初年度であることを考え、自分の通っている学校だけでなく、他の学校や添削問題をできるだけ手に入れたり、人の話を聞いたりするなど、多くの情報を手に入れ、偏った勉強をしなかったことがよかったと思います。

そうすることで、当日の試験に変な先入観を持たずにすんだことがよかったと思います。ただ暗記するだけの偏った学習は、柔軟性を奪い設計の自由をなくさせる危険があるので気をつけたほうがよいと思いました。

● 決めつけをしないことや先入観をもたないことだと思います。短い時間のなかであらゆる可能性を探ること。

◆ 合格したことはうれしいですが、これでやっとスタートラインに立っただけなんですよ。

これからもがんばります。資格学校や試験勉強で知り合いになった人の建築的な知識を聞くと、本当にこの人、学科の試験に通ったのと思う人が多く、がっかりしたこと少なくなかったことを思い出します。

たとえ自分がかかわったことのないビルディングタイプでも自分で資料なり書籍を見つれたり、実際の建築物をみるくらいはできるので、やったことのないことを理由に自分の不勉強に甘えないでほしいと思います。

今後、この試験が真に建築の設計をやっている人たちのための試験になっていくことを望みます。

◎ (札幌)講習会は少人数だったのでたくさんのお話を話せたことが良かったです。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

<zone>いやー、札幌に何度も行ってよかったです。合格おめでとうございます。これからの新しい北海道を作っていくって下さい。また懇親会でお会いしましょう。

■ 滋賀県 3回目 後半戦通信添削生 資格学校+学科製図.com 再現図アリ 30代 男性 O型

★ 学科製図.com とは2年お世話になりました。昨年は講習も2回程参加させていただき、今年は時間との関係で、専門学校と後半戦のみでしたが、学科製図のエスキースのプロセスは今年に自分にあつたものだったと思いました。昨年は関係図がメインでしたが、今年は動線図に割り切ったのがよかったと思います。

● 開始50分前にはついていました。椅子の固定をしていました。また製図板は専門学校から配られる三角を使用せず、製図板の裏にクッション材をはり図面の上方を書くときは、机の角にクッション材があたるように少しスライドさせると使いやすかった

です。また、チョコとガムとウイダインゼリーとお茶を用意してまして、2回喫煙休憩するときに+チョコ食べてました。長期戦なので、時間の管理と休憩は大事だと思います。

◆模擬試験まで、ある程度いい成績でしたが、最後の試験では、道路斜線に引っかかっていたりと自己採点では、不合格だと思っていましたが、結果は合格でとてもうれしく思います。ほんとに今年は紙一重だったと思います。

今年は ZONE 先生に会うことはなかったのですが、ほんとに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

◎ 通信添削 テキスト類 講習会等、すべて良かったと思います。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

<zone>いつも遠い滋賀県から講習会に参加いただきありがとうございました。2 年越しだったので私も気になっていたのですが、昨年はあまり京都で講習会ができず申し訳ありませんでした。今年は京都で何度か講習する予定ですので是非その後の懇親会にご参加下さい。合格おめでとございました。

■兵庫県 2 回目 後半戦通信添削生 学科製図.com のみ 40 代 女性 O 型

★ 1.晩酌をやめたこと。 2.出勤前と寝る前、細切れの時間(2,30 分)でも、とにかく毎日勉強したこと。

3.課題数が少ない分、何度も復習したこと。 4.資格学校に通っている同僚から、情報収集をしたこと。

● 「やったことがないことはやらない」を守ったことだと思っています。ずっと純ラーメンで描いていたので、本番でも耐力壁は設けませんでした。

◆ 去年は資格学校に通ったのですが、ランク 2 で不合格。資格学校が合わないと思ったのと、経済的な理由で、学科製図.com を選びました。周りの人たち、とりわけ家族には多大な協力、応援をしてもらったので、今年も落ちたら合わせる顔がないと、プレッシャーが大きく、発表当日は試験時よりも緊張しました。家族、友人、同僚の協力・激励がなかったら、合格もなかったと思います。感謝の気持ちを忘れず、一級建築士としての自覚を持って、安全で良質な建物造りにかかわっていきたくと思います。

<zone>「晩酌を止めたこと」はすごいですねー。すごくタイトな学習イメージが伝わってきます。「やったことがないことはやらない」は合格ご金言集に入れたいくらいです。

これからの建築士人生をしっかりと歩んで下さいね、合格おめでとございました。

■兵庫県 3 回目 アイテム購入者 資格学校+学科製図.com 講習会参加アリ 再現図アリ 40 代 女性 A 型

◆ 1 回目を書いたのとは違う視点での想いがあつたので書かせてもらいました。

今年は、自分の心境が大きく変化した年でした。周りの事象も自分の捉え方ひとつで変わっていくのを体感でき、自分に関わる全てのことを受け入れ、自分の欠点さえも受け入れるとすごく楽になりました。自分を許せるようになると、他人の嫌な部分も許せてしまえる不思議な感覚で、職場でも多少の諍いがあっても、自然とおさめられるようになっていました。この試験に挑戦していることは、できるだけたくさんの人に理解してもらえるのが一番で、より多くの味方をつけることがやっとできたのが今年でした。

今まで、職場では、まわりが職人ばかりで受験に興味もなく、話もできず、また、何年も受験しているのが恥ずかしくもあり、あまり人に話しもせず、秘かに勉強、秘かに受験し、そして独り、敗退の屈辱をかみしめていました。

職場では、ほぼ孤立状態の受験体制。これを一番に崩しにかかりました。

受験も、勉強してがんばっていることも、悔しい気持ちも、もうすぐ試験だからということや、もうすぐ発表だということまで、できるだけ周りに伝えてきました。そうすることで、萎縮することなく、すんなりと受験体制に入れたし、毎日の職場での関わりが精神面にかなり良い影響を与えてくれたようです。

また、今年ダメだったとしても、それだけの人を味方につけているので、きっと立ち直りも早い段階ででき、ダメージが最小限にとどまったということが予測できていました。発表日の朝一番に経理の姉さんがどうかと聞いてくれて、まだだというと、わかるまで落ち着けへんね〜。ポチポチネットでわかるというと、ハラハラして見てられへんわ、と同じ様にそわそわ。そしてコーヒを入れる準備をしてくれて、やっとネットがつながり、名前を確認すると一緒に喜んでくれて、これまで想いをずっと伝えてきて良かったと実感。

業者さんも、明日発表やろ?とか気にしてくれたり、驚いたことに薬局の薬剤師さんにまでどうだったか聞かれ、え?なんで知ってるの?と聞くと、確か 12 月発表って聞いてたから、みんなで応援してたんですよーって。

いったいどこまで話してんやろ!と怖くなったほどにたくさんの人に知らせていました。不思議な感覚です。

去年までに合格していても、果たして職場やまわりでこんなに喜びを分かち合える人がいたろうかと思うと絶対に今年で良かったと思います。

まわりを巻き込むほどに近づく合格!という法則は成り立ちませんか?

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

<zone>外堀を埋めることで力を発揮する有言実行タイプとそれがプレッシャーになってしまう不言実行タイプの方がいるので誰でも適用するわけにはいきませんが、前者のタイプであれば、その方が合格に近いと思います。

その法則は成り立ちますよ。是非これからも使って行って下さい。合格おめでとうございました。大阪事務局は近くなので遊びに来て下さいませ。

■ 岩手県 2 回目 前半戦からの通信添削生 学科製図.com のみ 20 代 男性 O 型

★ 昨年の資格学校で積み上げたものを、学科製図.com でさらに上積みできたことが勝因。

製図のテクニクやスピードは資格学校である程度マスターできていて、学科製図.com では、柔軟な考え方・対応を自分に取り込むことができた。

● 試験当日は、問題の構成に驚いた部分があって、かなりテンパった。そのせいもあって、そんなにいいプランでもなかった。だけど、最低限のことは押さえることができたのが大きかった。あとは、最後まであきらめずにできたこと。

◆ 今回は合格できたが、試験元がどこに比重を置いて採点しているのか全く不明。つまり、一級建築士になるために求められていることが不明。ここははっきりして欲しい。納得できない不合格者もいると思う。

◎ 通信添削 テキスト類

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

来期へのご要望 = 来期へのご要望がありましたらお願いします。

本当にお世話になりました。これからも悩める受験生の助けになってあげてください。ありがとうございました。

<zone>いざというときにどうするのか？という試験です。その状態の時にらせるものが実力なのかもしれません。そのタイミングで最低限のことを押さえる、と見切れたことがよかったです。合格おめでとうございました。

■ 千葉県 4 回目 後半戦通信添削生 学科製図.com のみ 30 代 男性 B 型

★ 落ち続けた 3 回は総合資格にかよっていました。中途半端に図面が描けたこともあり、この人は大丈夫といった感じでほとんど放置状態。質問しても、そこまで考える必要はないと言われてたり。今回、初めて学科製図.com を利用し、「落ちない図面の描き方」、「減点の言い訳をさせない図面」を徹底的に意識して描くことを覚えられたと思っています。なによりもこれが勝因で、この新制度の試験下ではさらに重要なことではないかと思っています。

あとは、業務が忙しく資格学校時代はこなすので精一杯でしたが、学科製図.com の課題量、ペースは僕に合っていたため、しっかり復習する時間を取ることが出来たのも、落ちない図面の描き方を実践する布石になったと思います。

そして、何より、先生の赤たつぷりの図面チェックが最も役立ちました。

● 試験当日の要因としては、

① 計画の要点を後でチェック出来るようにまとめエスキースする癖をつけ、実施したこと。

② 一回目に思い浮かんだプランを横に置き、他の案はないかあたる。

③ 見直しの時間を絶対に設ける！

①から③、総べて学科製図.com の教え通りです。

◆ 会社の後輩が続々と合格していき、しまいには無免許でプロジェクトのリーダーに。これでは肩身を狭い。。。勝手に感じたプレッシャーとの闘いでした。建築が小さい頃から大好きで、迷うことなく入学した大学の建築学科。就活も意匠の建築設計以外は見向きもしないでやりました。会社の中の誰よりも建築を見て、考えてきたと自負していた中の資格試験。開いてみると合格出来ない。何度も投げ出したくなりましたが今回合格して、ここまでやってきたことをこんな形でも資格として残せたのは正直嬉しいです。受かってても特に何も変わらない気がするんですけどね(笑)

◎ 通信添削は、課題、評価ともにすばらしいと思いました。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

来期へのご要望 = 今後も多くの生徒を合格に導いてあげて下さい。僕は先生の精神論、好きでしたよ。

<zone>うーん、精神論ではないんだけど。。。でも真意は伝わっていると思うのでいいでしょう。合格おめでとうございます。これからは大好きな建築に邁進して下さい！！

■ 沖縄県 5 回目以上 後半戦通信添削生 資格学校+学科製図.com 再現図アリ 30 代 男性 O 型

★ 受験環境で廻りの協力とキャリアだと思います。

● キャリア

◆ 大変お世話になりました。とても、参考になりました。ありがとうございました、

◎ 通信添削 テキスト類

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

<zone>これからは沖縄の星としてがんばって下さいね。合格おめでとうございました。

■ 東京都 2 回目 後半戦通信添削生 学科製図.com のみ 再現図アリ 30 代 女性 A 型

★ 簡単なことですが、自分の添削結果を必ず復習しました。資格学校と違い書いた枚数は少ないですが、その分添削内容も充実していて良かったと思います。時間のとれない私には通信添削講座は合っていたと思います。

資料の少なさもかえって良かったと思います。多いとそれだけ読んで自分のものにするのに時間がかかってしまうし浅い知識になっ

てしまいがちなので。
● あわてないで課題文をしっかりと読んだこと。最後まで集中力を切らさないで書ききったこと。時間はぎりぎりでしたが、構造スリットを設けて耐力壁を設けない方法でいこうかとも思ったのですが、課題文中の「耐力壁等を設ける」が気になり、センターコアで計画し、耐力壁をうまく設けられそうだったので、耐力壁を用いました。添削課題では計画したことのない耐力壁でしたが、構造資料に目を通していたのでなんとかなりました。

◆ 合格してとにかくほっとしました。

◎ 通信添削 通信添削が資格学校の内容より充実してました。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

<zone>「耐力壁等を設ける」ならば、耐力壁付ラーメン構造で出題すべきですね、収益性を問うならば SRC ははずすべきでしょう。このあたりに何か潜んでいるとも思います。そういう意味では嫌な出題でした。その中でよく学科製図.com を活用されてうれしい限りです。合格おめでとうございました。

■ 東京都 2 回目 アイテム購入者 学科製図.com のみ 講習会参加アリ 40 代 男性 O 型

★ 作図に時間が掛かっていたので、鉄腕 DVD 等を参考に、作図のトレーニングをしました。設計に関しては、アイテムの homanote を参考にある程度の形体をストックしていくように心がけた事と同じ課題で、2 案から 3 案エスキースしました。短期の講習会や模試への参加、同じ目的の社内外の仲間との勉強でモチベーションを下げないようにした事が最後まで勉強を続けられた事が最大の勝因だったと思います。

● 試験当日は思いのほかリラックスしていました。昨年の初受験は始まる前から妙な緊張でトイレに何度も行く羽目になっていた

ので、今年は前日の食事から注意して、不安要素(自分で勝手に決めた)を排除して、当日に臨みました。

開始前にメルマガにあった事を復唱し、落ち着いて試験に望めたことが最大の勝因だったと思います。

実際プランは標準解答例(学科製図・総合資格・資格学校他)とは全く違うものになっていました。

ただ、要求項目の記入するべきものは落さずに書き込みきりましたし、

要求の無い消防設備系(連送・内栓等)・構造系(スリット・耐震壁)も、それまで整理した項目をとにかく詰め込みました。

また、試験会場は椅子が木製等硬いものが多く、冷えるので座布団を持参して試験を受けたことも落ち着けた要因と想います。

◆ 初受験から 10 数年(途中何回か受けてもいみせんでしたが)資格学校や社内教育等で勉強してきましたが、

ようやく合格する事ができました。今は、嬉しさより終わってホッとしているのが実感です。

ただこれからの方が一級建築士と名のる以上今まで以上に仕事に対して真摯に向わなくてはならないと感じています。学習方法として今回が初めてテキスト・アイテム購入による自宅学習となったわけですが、実は自分に一番合っていたのだと感じました。学習方法の選択も重要な要素だと改めて感じました。

◎ テキスト類:鉄腕作図テキスト&DVD、パーツ集、設備・構造テキスト

講習会等:短期講習、模擬試験(これは学科製図だけでなく複数受けると色々なバリエーションが体験できるので、自分の視野が広がります)

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

来期へのご要望 = 私のように、試験に合格できる人が来期はもっと増えるようがんばって下さい。

<zone>合格おめでとうございました。合格するまでの手段の選択肢となるのが学科製図.com の目的のひとつであったのでうれしい限りです。学科製図.com のスタイルに合う方がおられたらご紹介下さいませ。

■鹿児島県 3回目 後半戦通信添削生 学科製図.comのみ 再現図アリ 30代 男性 O型

★ 再現図はエスキースのみを送り、添削していただきました。

● わかりません。減点項目としては

①当初1階の階高を6mで考えていて、途中で4mに変更したんですが、1階階段を2回転のつもりで段数を少なく書いており、修正するのを忘れていた。

②2階基準階平面に非常用進入口用のペランダを書いてしまった。

③②にもかかわらず、梁伏せには書いていない。

④ショールームに直接外部(オープンスペース)からの出入口をたぶん書いていない。

⑤地下機械式駐車場のスペースが小さい

等があり、学科製図.comの採点も120点満点で88点(エスキース添削なので微妙とは書いてありましたが・・・)

だったので、正直、合格はむずかしいかなあと考えていました。

◆ 試験元の採点基準がはつきりしないのはよろしくないですが、合格しましたのでまあいいかとも思います。

<zone>合格おめでとうございました。再現図のご送付ありがとうございました。図面の判定基準については再考します。

■東京都 3回目 学科製図.comのみ 講習会参加アリ 再現図アリ 30代 男性 AB型

★ ZT(東京 zoneton 塾)7期生として入塾したことが、何よりの勝因だと思います。

● 課題を通して、やるべきことをやり、自分の中で整理した上で、試験に臨みました。本試験はそのお陰で予定通りに進みました。判断に迷う箇所もなかったです。

◆ 3回目の受験でやっと合格いたしました。これも学科製図.comに出会えたお陰です。試験を通して、獲得したスキルは一生モノです。ありがとうございます。

◎ ZT塾、テキスト、パーツ集。

満足度 = 学科製図.comの内容には大変満足している

<zone>苦勞されてきた甲斐がありましたね。私も非常にうれしいです。これからはこのスキルを使ってがんばってください。合格おめでとうございました。

■岡山県 2回目 後半戦通信添削生 学科製図.comのみ 講習会参加アリ 30代 男性 O型

★ 去年は完全独学で、何が出来て何が悪いのかも解らないままランク3で失格でした。今年は学科製図さんのテキスト・通信添削中心に進めて行き、自分で納得がいく程度までは知識・理解を深める事が出来たと思います。

コミュニティで疑問点を質問した時、確か「夜間動線は確保出来なくてよいのか」「エントランスの夜間セキュリティは？」みたいな内容だったと思いますが、その時「そのような事を自分で考えて図面にする試験です。」と言って頂いたのが凄く印象に残っています。専門学校に通っていないので比較は出来ませんが、一度某専門学校の公開模試で個別指導を受けた時の「～してください。」「～はしないでください。」みたいな結果のみの指導とは違う方針に感銘を受けました。勝因というものとは違うかもしれませんが、それ以来「理由」を強く意識しながら全ての計画をするように心がけました。なぜここに配置したのか。どうしてこのような計画にしたのか。求められた時に「～しなさいと言われたから」「～しなさいとテキストに書いてあったから。」ではなくて、それを自分の考えで、自分の判断で言葉にできるように心がけました。そしてその判断・考え方の精度を高める為に勉強しようと思いました。私が勝手に思っているだけかもしれませんが、「覚えさせる」よりも「考えさせる」に重点を置かれている指導・添削は本当に私にはあったと思います。

● 当日はむしろあまり新しい情報を頭に入れないように、今までの過程を信じるように、テキストをパラパラ見る感じにしました。

◆ 大学受験以来の本格的な勉強となりました。久々に訪れた焦燥と不安の日々。ただ前年があまりにも何もなかったため、今年は後悔の無いようにしようだけは思いました。

試験が終わった時、正直今までの模試よりも出来が良くないと感じました。通信添削ならば・・・B+? B-?って感じで。ですが、自分に問いかけてみても後悔はありませんでした。信じた勉強方法を、そして自分の取れるだけの時間を出来た充実感がありました。お盆もシルバーウィークも勉強に時間を費やしてしまい、どこにも連れて行ってやれなかった家族にまずは大感謝です。そしてZONE先生をはじめ、受験を通して出会う事のできた皆様にも大感謝です。

◎ 通信添削 講習会 鉄腕製図テキスト・DVD

満足度 = 学科製図.comの内容には大変満足している

<zone>講習会でも通信添削でも同じことを話していますが、その中の言葉の中で発見できるかどうか合否を分けます。心に響

く言葉をイメージしていますが、それ以上に聴くことのセンスを感じます。その方向性でがんばって下さい。合格おめでとうございました。

■ 東京都 4 回目 後半戦通信添削生 学科製図.com のみ 講習会参加アリ 30 代 男性 O 型

★今年では数ではなく、内容をこなす(理解度を上げる)ことについては実践できたかと思います。

●いろいろとミスの自覚もあったので正直言って勝因は分かりませんが、標準解答例を見る限りでは合格圏内のレベルにかろうじて踏みとどまれていたように感じました。

◆もう後が無い背水の陣だったので、正直ほっとしました。まだ、合格の実感がありません。合格出来たのは学科製図のおかげです。ありがとうございました。

満足度 = まあ、この程度の内容ならよいと思う

来期へのご要望 = 斜線制限など、対策の手薄なところが判断を左右するポイントにもなってしまっていたので、より浅く広いフォロも必要なのではないかと感じました。

<zone>合格おめでとうございます。と共にアドバイスもありがとうございました。

過去の本試験(h10/h11)では道路斜線で当たっていても合格していたり、h14 では竖穴区画ができてなくても合格したり、法規はかなり無視されても合格されている実態がありましたが、h21 からは試験が平易になり、と共に法規についてはしっかり減点されるようになったようです。学科製図.com でも法規については指導してきましたが、h22 からは法規もさらにシビアに対応することになります。

■ ランク1 徳島県 2 回目 アイテム購入者 資格学校+学科製図.com 30 代 男性 O 型

★製図初年、作図に時間がかかりすぎているところ、あるHPで鉄腕作図DVDが紹介されていたので購入しました。しかし送られてきたDVDは空っぽ(笑)。このことを、学科製図.com に伝えたとお詫びに2ランクアップビデオもつけてもらいました。教材はともわかりやすい内容で本試験前になんとか3.5時間台にすることができました。初年度は残念ながら、ランクⅡでしたが、製図時間・表現方法などを確実に身に付けることができたので2年目の今年は、エスキース、設備、構造などの学習に時間を当てることができました。

●試験の最初から終わりまで常に自分を客観的にみることができたのが、大きかったと思います。一部にこだわらず、常に全体を意識し続けたのが一番の勝因です。これは資格学校の教材だけでは身につけなかったと思います。

◆一年目 学科不合格、二年目 学科合格+製図不合格(ランクⅡ)三年目 製図合格

これが僕の受験歴です。落ちてからの再度勉強はとても悔しい時ですが、学科・製図とも二回目の勉強では自分に実力がついてきているのが実感できる楽しい時間でもありました。やった事は絶対無駄にはならないという事を忘れずこれからも仕事をがんばろうと思います。

◎ 購入教材:・わかるエスキース ・エマーゲンシーマニュアル ・鉄腕作図 DVD ・nitekap 製図徹底解剖 DVD

資格学校の課題でいっぱいだったのでアイテムだけの購入でしたが、この教材で身についたことは最後まで自分を助けてくれました。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

来期へのご要望 = ここの教材は、ライバルには教えたくない！というのが受験生の時の思いでしたが、今は宣伝しまくりたいです。これからも悩める受験生を助け続けてください。ありがとうございました。

<zone>合格おめでとうございます！ 私今までの人生経験は全ては無駄にならないと思う一人です。これからは是非しっかり宣伝して下さいませ(笑)。

■ 東京都 初受験 後半戦通信添削生 学科製図.com のみ 講習会参加アリ 30 代 男性 O 型

★初の受験ということもあり、最初はなにを学習してよいかさえもわからない状態でのスタートでした。

学科製図.com の通信添削課題を課題順にきちんとこなしていくというだけでしたが、それがよかったのではないかと考えています。通信添削課題も、他の受験生の図面も見ることができたので、その解答例も含めて5回の課題だけで十分様々な情報が得ることができました。その5回の課題だけで十分どんな応用にも対応できるようになっていたと思います。あと、エスキース読本や構造テキストなどが非常にわかりやすく、実務的でもあるので違和感無く理解することができました。最後の直前シンクロ課題で、緊張感のある、実際の試験の雰囲気も味わえたことも非常にためになりました。

● 当日は、冷静になることだけを意識して取り組みました。今までの課題よりも簡単であるように感じたので、ミスや間違いがな

いか何度もチェックをしました。実際、今まではなかったような安易なミスなどもあり、やはり本番では緊張しているのだなと実感しました。勝因としては、時間最後まで集中力をなくさずに取り組んだということになると思います。

◆ 初めての受験であり、学科は独学、製図は学科製図.com の通信添削のみでしたが、なんとか合格することができて、本当によかったと思います。

◎ 通信添削は自分の添削だけではなく、他の方の添削図面も見れるので、相対的に自分の図面内容を把握することができるので非常に良いと思います。あと、構造テキストや設備テキストが実務により近い内容での受験用テキストになっていると思うので、違和感無く理解できて非常に良い内容だと思います。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

来期へのご要望 = 余計な情報や無駄が無く、一級建築士受験対策として、製図学科.com は非常に良いと思いますので、とても大変な労力をお使いになっているとは思いますが、是非今後も長く続けていただければと思います。

来年以降受験する周囲の人にはお勧めしようと思います。

<zone>初受験での合格おめでとうございます。 受験資料としてはコンパクトにまとめた、でも多くのことを網羅したい、この狭間で作っています。一歩間違えると単に情報量が少ない資料になってしまいますので、とにかくポイントを押さえることを最重点においています。是非ともお知り合いの方にご紹介くださいませ。

■鹿児島県 5回目以上 後半戦通信添削生 学科製図.comのみ 再現図アリ 30代 男性 B型

★3 回目のカド番でしたが、本格的に製図の練習に入ったのは、9 月の中旬からでした。というのも、2 級とのダブル受験でしたので、正味 4 週間で本番に臨んだこととなります。まさか合格できるとは思っていなかったのが本音です。

作図スピードの訓練という意味では、事前に 2 級の試験が役立ったかなとも思います。学科製図.com さんの添削についてですが、申し込んだのが遅く、結局学科合格者の発表後だったこともあり、添削して頂いたのは第一課題と第七課題、それと最後のシク口の 3 課題でしたが、本試験の対策としてはこれで十分だったのではないかと考えています。

あと、試験直前に届いたメンタルテキストが、本番での支えになった気がします。

●「細かいミスはあるね、でも大きな括りで見ちゃんと事務所ビルになってるよね」という図面を目指そうと常に考えていたように思います。

課題文を読んで一番引っかけたのは、「地下機械式駐車場」でした。ターンテーブルとリフトについては参考図があるのに、肝心の機械式駐車場の参考図はありません。私はそれについて全く予備知識がありませんでしたし、見たこともありません。要求されてるし、ウソでもいいから描かなきゃいけないのは分かっていたのですが、分かってないことを描くわけにはいかない。実務では一本の線がウン十万、ウン百万になることだってあります。最後まで迷ったのですが「描かない」ことに決め、地下範囲未記入という選択肢を選びました。

試験後は相当後悔し、99%合格をあきらめていました。が不思議なことに合格なんです。う〜ん今でも不思議で不思議でたまらないんですが、自分が信じて最後に決断したことが、結果につながったことが本当にうれしく感じます。

多分、昨年までであれば確実にランク 4 だと思うのですが、このアタリが変わったのでしょうか？

何はともあれ、こちらで学ばせて頂けたことに感謝いたします。ありがとうございました。これからがスタートです。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

<zone>複数回受験が重なってくると本試験そのものが見えなくなってきました。 それに対して 2 級建築士を受験することで相対化されたのではないのでしょうか。 そういった複眼的思考は非常に重要なんです(ダブル受験をしようと進めているのではありませんよ)。そういう要因は大きかったと思います。 採点基準は未だ不明ですが、h21 はどうも変化があったように思います。 これについては突き詰めていこうと思います。合格おめでとうございます。

■滋賀県 初受験 その他 資格学校のみ 再現図アリ 30代 女性 A型

★課題の復習をなるべくするようにしました。その学校やサイトによって生かす部分と捨てる部分？が違うように思えたので他の学校などの資料をもらっても、あんまり浮気しないようにしていました。

● とにかく問題文を素直に読むようにした。

◆ まわりの人にホント〜に感謝の気持ちでいっぱいです。

ここのサイトを知ったのが試験が終わってからだったので再現図添削のみの参加ですが、ブログなどは試験の内容を整理するのに役立ちました。

満足度 = まあ、この程度の内容ならよいと思う

<zone>いろいろな教材を使って相対化すること、その教材を信じること。実は2つの合格への道があるんですね。合格おめでとうございました。

■ 愛知県 2 回目 アイテム購入者 資格学校のみ 再現図アリ 40 代 男性 A 型

★ 各パーツを暗記した後は、エスキース DVD を繰り返し何度もみました。特に今年は、コアパターンの想像力アップを徹底的に行いました。これが勝因です。

● エスキースがスムーズにできたこと。製図に入る前に計画の要点をすべて記入したこと。要点と製図の整合は常に意識して描いたこと。コアパターン検討手順等を含めたエスキース DVD が大変役立ちました。

◆ 合格までは大変険しい道のりでした。試験終了までは、何をすることも常に試験のことを考えていました。

エスキースは、繰り返し練習することにより、何かがみえてきます。自分のパターンを構築することと合格への熱意が大切だと感じました。合格は技術士試験より嬉しいです。。。

◎ エスキース DVD

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

<zone>学習方法をイメージングすること、そしてそれを実践することが非常に重要です。そういった意味でそのイメージと実践をつなげられた学習への熱意が合格につながったと思います。合格おめでとうございました。

■神奈川県 4 回目 前半戦からの添削生 資格学校+学科製図.com 講習会参加 再現図アリ 40 代 男性 A 型

★学科製図.com 中心に資格学校の模擬テストなどを受けたほうが良いと思います。しかし、学科製図の添削は今までの資格学校よりはるかにためになりました。

● 最後まであきらめなかったこと。当日は様々な要因があり見直しが出来ず、汚く、納得いかない図面でしたが、レッドカードを思い出し最後まであきらめなかった。

◆ 本当に長い間、いろいろなものを犠牲にして勉強してきました。本当にうれしいです。

◎ 通信添削

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

<zone>最後まで諦めないことの重要性は誰しも言うことですが、やはり合格者の声としては、声を大にして言っていただきたい金言のひとつです。合格おめでとうございました。

■沖縄県 4 回目 後半戦通信添削生 資格学校+学科製図.com 再現図アリ 40 代 女性 O 型

★課題文をエスキース用紙にまとめる方法を何度も繰り返し行いました。(時間を計測しながら)もちろん、学科製図.com の解題例のエスキースも資格学校の解答の考え方等も・・・図面ではなく解題をトレースしました。

●何故か妙に冷静でいられました。周りの受験生達の表情まで、記憶に残るほど冷静でした。

◆長かった受験生活。辛く、孤独でした。毎日が「何故？」の連続でその明確な答えがない毎日が続き・・・試験当日。

そして、合格発表。まだ毎日「何故？」の続きです。なぜ合格できたのか？去年と何処が違うのか？

不思議な試験です。

でも一つだけ・・・信じていたのは添削の裏に書かれていた言葉でした。(ようやく今年から内容の意味がわかりましたが・・・)添削図を見る前に裏から読んでいました。(^^;

きっと裏に書いてある言葉の意味がわかったから合格できたのかもしれない。

ほんとうに長い間、お世話になりありがとうございました。

◎ 通信添削←もちろん一番のおすすめ！

テキスト類・・・というかDVDがお守りでした。

やはり、見る。につきました。作図にせよ、エスキースにせよ、毎回ひらめかせて頂きました。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

来期へのご要望 = 解説を理解するのが大変でした。解読力が全く無かったので・・・

もう少し、ヒントを多めにひっぱり口は多種多様でお願いしたいです。

<zone>この方の合格を何より望んでいた一人でした。沖縄から大阪の講習会にも参加していただいたのは一昨年。その年に合格されなかったことは私にも痛恨でした。でもね、去年は違いましたよ。何が変わったのかわからないかもしれませんが、添削中から合格することは確信していました。本当におめでとうございます。いつか沖縄の地を踏むときは是非楽しく飲みましょう！

■石川県 4 回目 後半戦通信添削生 学科製図.com のみ 30 代 男性 A 型

★ 試験までの学習方法の勝敗要因

平成 18 年から 3 年連続 S 学院製図コース(内 1 回は長期コース)に通いましたがランク IV、II、IV でした。今年は費用のことも考え、学科製図のみの学習で角番受験に望みました。学科製図で感じたこと。コミュニティサイトをうまく活用すれば、資格学校に劣らない？むしろ勝る位の情報量が得られたこと。

そして、新試験に対する分析が意外に？(意外にと言うのは失礼かもしれませんが他に表現が思い浮かばない)的の中心を得ていたこと。があげられます。

色んな憶測が飛び交いましたが、結果、学科製図の方針が、今回の試験にうまく当てはまっていたような気がします。

では、何を持ってそう感じたか。私の解答例から紹介すると、

1 消防設備に関しては全く記述しませんでした。←これは学科製図で、製図試験で求められるのは建築基準法であって消防法はむしろ解答基準に当てはまらないという情報があつたから。

2 創造しながら設計する←これもよくコミュニティサイトで言われていたような気がします。

特に感じたのは上記 2 点。

逆に、そこは???だと感じたのは耐力壁に関する考え方。試験もとの要求に対して純ラーメンで対抗するのはどう考えても出来ませんでした。

いっつい先生の「耐力壁の入れ方」みたいな講座は何度も読み直しました。こちら辺は情報量が素晴らしかった。

合格するための解答の全てを、資格学校や、通信添削に期待すべきでない。納得できるところはよし、納得できないところは自分で追求し本番に反映させる。

創造しながら設計するとは、そういうことなのではないでしょうか。そういう考え方からすると、押し付けの指導法の資格学校より、学科製図のほうが適切だったと思います。

そうだからこそ、コミュニティサイトでは時に引いてしまうほどエキサイティングな議論がなされていたのでしょう。

● 初歩的なことですが、周りの騒音(特に周りが製図を始めだしたらものすごく気になる)ので、今年は耳栓して望みました。おかげで最後まで集中力バッチリでした。

◆ 目標が、一級建築士になる！なのか、その先のことがあるのか？で違うと思います。むしろ後者のほうがいいのかも・・・合格はただの通過点です。

◎ 通信添削 テキスト類 講習会は参加しませんでしたので、それ以外は全てよかったです。

コミュニティサイト(通信添削コースメンバーズサイトのことです)が一番いいかも。

他の人の考え方とか、何に疑問を感じているのか等、参考になりました。

満足度 = まあ、この程度の内容ならよいと思う

来期へのご要望 = 資格を取った後の更なる向上が出来ること・・・ ちょっと良く分かりません・・・。

<zone>よく間違われるのは、私たちの信奉者を作るためにやっているのではないので、うまく取捨選択していただければそれに越したことはない、と考えています。自分自身に納得できる解答を見つけていくこと自体が建築士への道なのだと思います。合格おめでとうございました。

■神奈川県 2 回目 アイテム購入者 資格学校+学科製図.com 講習会参加アリ再現図アリ 30 代 男性 A 型

★製図試験に特に有効だった勉強を以下に列記します。

1) ゼミを立ち上げて皆と一緒に勉強。

2) これはと思う学科製図.com の講習会に参加して奮起する。

3) 「わかるエスキース」を何度も読み返した。

4) パーツ集を見て使って、自分でパーツを増やして覚えた。

5) 記述力を上げるため、「参考書」を自分なりに課題に直した冊子を作って、通勤途中に解いて覚えました。

● 決定的要因を以下に列記します。

1) 課題の読み間違いをしないように、ポイントをマーキングして、チェック時に消しこみをした(計 2 回)。

2) 「わかるエスキース」のスタイルを最後まで貫きました。

3) 早めにエスキースを完了させて、製図に入れたこと。

◆ この一年間は、建築士試験を勉強した中で一番勉強したように思います。

こうして、結果を残せて本当に良かったです。これも、学科製図.comの先生方や、家族、友達に支えてもらったお陰です。この場を借りて、皆様にお礼を言いたいです。本当に有難うございました。

◎ テキスト類 わかるエスキース・・・名著です。 パーツ集

講習会 興味のある講習会は出席して下さい。

満足度 = 学科製図.comの内容には大変満足している

<zone>今年の横浜自主ゼミは勢いがありました。全員合格は果たせませんでしたが、その意志は今年必ず生きるモノだと信じています。合格おめでとうございました。 残りのメンバーの合格も祈っています。

■愛媛県 初受験 後半戦通信添削生 資格学校+学科製図.com 講習会参加アリ再現図アリ 20代 男性 O型

★僕が初受験で合格出来たのは絶対合格してやるっていう意思を一年間継続させていたことと自分に負けずに戦えたことに勝因があると思っています。

資格学校だけでは資格を取る為のテクニックしか身に付かず、それで合格出来ても建築の楽しさを見出すことは出来なかったと思います。学科製図.comを併用したおかげで建築の楽しさを学ぶことが出来ました。

また、メンバーズサイトを通じて連帯感のようなものを感じることが出来たのも僕にとっては大きなメリットでした。

●問題文の文字数が結構多かったので注意深く問題文を読むことが合否に大きく関係したのではないのでしょうか？

エスキース自体はあっさり収まってしまったので、残りの時間で何回も見落としがないかチェックしていました。僕はそれでもいくつか見落とししてしまいましたが・・・。

◆試験後の自己分析で自分の未熟な部分をいくつも発見していたので不合格でも来年は絶対こんなミスはしないって思っていました。まだまだ未熟ながら合格させて頂いたので試験後に反省したことは実務やプライベートで実践していこうと思います。これからは一級建築士の名に恥じない一級建築士になれるよう日々精進していきます！

色々とうりがとうございました。

◎ 通信添削 資格学校ではありえない位自分の図面を分析して頂いて非常に為になりました。

テキスト類 実務的な内容で試験後の実務にも使えると思います。

講習会等 試験前の適切な時期に適切な内容の講習をされているようで受講して損はありませんでした。

満足度 = 学科製図.comの内容には大変満足している

来期へのご要望 =個人的には大満足です。

<zone>受験後は京都での見学会まで参加してくれてどうもありがとう。そして合格おめでとうございます。

これをステップに次のステージに進んで下さい。これからも不安なことでも何でも相談してくださいね。

■東京都 2回目 後半戦通信添削生 資格学校+学科製図.com 20代 女性 O型

★今年角番で資格学校に通っていましたが、資格学校での前半戦の授業(学科合格発表まで)に不安を覚えた(毎週言ってることが変わるなど)ので後半戦から学科製図に申し込みました。

資格学校と同時並行で計画パーツ集のトレースからはじめました。

次に、添削は提出することができませんでしたが、エスキースをわからなくてもとりあえずまとめて、解答と照らし合わせて自分のエスキースで上手くない部分を分析をしました。

慣れ親しんだ資格学校の問題とは違うテキストなので、問題文の読み込み(チェックポイントの理解)がしっかりできているか確認できました。

●資格学校でまったく触れていなかったタイプの駐車場がでたのですが、学科製図のテキストでみたことがあったので、それほど動揺しなかった。苦手な高さでパニックになりそうでしたが、エスキースをあきらめずまとめたこと。

◆いろいろな人たちの助けがあってこそ合格だと思いました。

◎ 計画パーツ集(基本をマスター)→通信添削(パーツを活用・応用)

満足度 = まあ、この程度の内容ならよいと思う

来期へのご要望 = 注文や、最後の教材が届かないなど色々ご迷惑をおかけしてしまい、大変申し訳ありませんでした。これからも親身なサポートを続けて行っていただきたいと思います。本当にありがとうございました。

<zone>最後は届いてよかったです。上手く利用できていたようでうれしい限りです。合格おめでとうございます！

■埼玉県 5回目以上 メルマガ読者 資格学校のみ 再現図アリ 30代 男性 O型

★自分なりの記載もれチェックの練習が、今年はいままでと比べて改善できたと思っています。(でも0ではなかつ

たです。)

● 地下機械式駐車場の位置表記憶に終了時刻1分前に気づいて書き込んだ事と思ってます。

◆ 私は5回目での合格です。今思えば長い月日が過ぎていました。ランク4、2、2、2、1です。

去年よりパワーアップして合格したのか、今年の採点基準が私向けに変わっただけなのか、未だによく分かりません。いまのところ両方とも要因にあるような気がしています。

再現図面展にはお世話になりました。ランク1と2の違いが何なのかここ数年考えさせられました。図面展でみるとやはり違うと思いました。資格学校だけでは、得られない貴重な情報と思います。

満足度 = まあ、この程度の内容ならよいと思う

<zone>再現図面展にお越しいただきありがとうございました。実際に合格される方の原図を再現図とはいえ直接観ることは非常に重要な経験だと思います。それを受け取れるセンサーをお持ちだったということが大切ですね。

合格おめでとうございます。

■東京都 2回目 前半戦からの添削生 資格学校+学科製図.com 講習会参加アリ再現図アリ 30代 男性 O型

★ 徹夜してでも、期限をできるだけ守り、課題を提出すること。資格学校と併用だったので、宿題も多くつらかった。

0時に家に着くことが多いが、4時まではやった。提出期限日前は徹夜のことが多かった。

● タイムマネジメント。自分なりの時間配分を持つこと。学科製図の時間配分表は、私にはきつかったが、目安になった。

◆ 3年かかって合格しました。土木出身だったので、製図は一からわかりませんでした。zone さんには、線の引き方から教えていただいて感激したことを忘れられません。これからは、3年分のGWと夏休みを取り返したいと思います。

◎ 講習会等 講習会で生でじっくり添削してくれるのがよかった。資格学校では、よく見ているのか見てないのかわからなかった。

満足度 = 学科製図.comの内容には大変満足している

来期へのご要望 = 親身になって相談にのってくれるところがいいところだと思います。情報量は確かに資格学校の方が多のですが、学科製図.comのいいところを十分に活かして、多くの合格者を出してください。

<zone>私にはもう10年分くらいGWが貯まっています(笑)。線の引き方だけでも随分図面が変わる方がおられるので毎年講習会ではご要望にお答えしてお教えしています。最近ではCADのみで手で作図した経験のある人も減ってますからねー。いやー、合格おめでとうございます。これから勝負ですね、がんばってください。

■東京都 初受験 後半戦通信添削生 学科製図.comのみ 講習会参加アリ 20代 男性 A型

★ 勝因としては、あまり俗世にはびこる噂話を信じなかったことです。もちろん、俗世とは某2大資格学校です。

学科製図.comはあまり、神話的なルールを生徒に覚えさせることはされませんでした。それはすごく良いことだと思います。例えば、ショールームは絶対天井高さ2.7mではダメ、4m近くないと！！というのが、某2大資格学校の共通ルール。(友人達がさも当然とばかりに豪語してました)そういった、根拠のない神話的なルールを鼻で笑い、信じなかったことが勝因だと思います。今回の試験課題などは特に、ショールームを高くすると、31mを超えてしまうかもしれない課題でしたね。

● リラックスするよう努めました。リラックスしすぎて、あつたらいいなというアイテムをもってこず、コンビニまで買いにいったのは少々しゃばいでした。あともう一つの失敗は梁伏図は今年初めてだからちゃんと課題文を読むようにといわれていたので、しっかり注意深く読んだつもりなのに、結局早とちりをしてしまい梁伏図に壁をまったく書かないという失敗をしてしまいました。

◆ 僕は、梁伏図に壁を書き忘れしました。(読み間違えたのですが)もう「未完扱いだらうな」と諦めていたら合格。

まぐれでも合格は合格なのでありがたく頂戴ときます。

◎ 通信添削

満足度 = まあ、この程度の内容ならよいと思う

来期へのご要望 = 通信添削としては、これ以上ないと思うほど精度の高いものになっていると思います。

ただ、どうしても課題の添削結果が帰ってくるのが遅いのが、玉に傷でした。しかし、少人数でやられているだけに、それも仕方ないこととは思いますが、何か改善できれば良いと思いました。

<zone>よい観察眼だと思います。合格おめでとうございます。添削に関しては、どうしても私が全員の図面を添削したいため、時間が掛かってしまいます。私が添削を止めれば全てはうまくいく話なんですけど、これだけは譲れないんですね。でもサブチーフをもっと育てる等して、できる限り私が観つつも早く返却できるよう改善を積み重ねていきたいです。

■神奈川県 4 回目 アイテム購入者 資格学校+学科製図.com 30 代 男性 B 型

★ 資格学校と学科製図.com と別サイトを活用し、試験対策しました。自己管理能力が低い自分としては、学習のリズムをつかむ為に資格学校に通うという行為が必要で、結果的にはそれ以上でもそれ以下でもありません。

勝因は試験1カ月前から計画の要点の学習を重点的に行ったことだと思います。幼いころから、国語力が低いので理系に進んだ経緯もあり、当初は模範解答を丸暗記しようとしたのですが、模擬などで繰り返すうちに、自分の文章でないことから図面との整合性を持った説得力のある文が全く書けないことに気が付きました。そこで模範解答に出てくる重要であると思われる単語をすべてピックアップしそれらについて、テキストや本で調べ、知識の掘り下げを行うことでオリジナル文章を書くことができるようになりました。学科製図.com の教材はエスキースDVDを利用させて頂き、エスキースの進め方を参考にさせて頂きました。一時は重要な部分を箇条書きにする手法を取り入れた事でエスキース時間が増えたり、書き写しミスなどもありましたが、キーワードのみ書くことにより解決し、問題の中の優先順位が明確になりました。

● 問題文の構成が変更された今年度の試験においては、上記DVDの重要な部分の書き出しが最終チェックの段階でも有効でした。おそらく問題文にマーカーを引く資格学校の方法のみの場合は過去問との違いからチェックの段階で混乱していたと思います。(当日も混乱してましたが・・・)

もう1点は設計の要点を図面作成前に十分に時間を使い記入したことです。計画の要点で書いたことは図面で表現しなければなりませんし、設計の要点を書くことで試験サイドが何を重要視しているかが少しわかりました。

それでも、エスキースを終え、設計の要点を書き終えた段階でエスキースのプランを一部変更するなどし、作図開始時間は残り2時間半を切っていたので、作図はこれまでに書いた図面の中で最低でした。記入漏れなどもあり、自分では合格レベルに達していないと思いませんでした。

◆ 合格する事ができましたが、試験後の自分の気持ちは自分の優柔不断さと決断の遅さをあらためて認識し、学科から再度勉強することが今の自分には必要だと、決心していました。ですので、勝因なるものを書く事はおこがましいですが、自分を戒める意味で書き込みさせて頂きました。今後も試験が終わった時の気持ちを忘れずに日々精進したいと思います。

◎ メルマガ、エスキースDVD

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

<zone>往々にして今年の準備を始めている方に限って合格することも多いようです。「ポイントの抽出」の真意については書いても書きすぎることがないほど重要なのですが、合格者としてこのように書いていただけると本当に説得力もありうれしい限りです。「そう、それがいいのだ！」って感じですね。合格おめでとうございました。

■沖縄県 2 回目 後半戦通信添削生 資格学校+学科製図.com 20 代 男性 O 型

★受験日まで製図の枚数を多く書くことを目的にしていたのですが、一度、立ち止まり書くことをやめて、今まで書くことを見直し、分析することに時間をかけました。具体的には、学科製図のパーツ集を自分でもオリジナルのものを作ったことが、力になったような気がしています。これは、受験した後に思ったことで、立ち止まり、見直し、分析しているときはこれでいいのかという疑問ばかりでした。

●意外と基準階のプランが書きやすかったことで、課題分とエスキースを時間をかけて照らし合わせる事ができました。でも、エスキースから図面を描くときに間違っただけで描いてしまったので、面積もずれてしまい、絶対落ちると思っていましたが、幸いなことにまちがった図面は、面積オーバーも上下不一致がなかったことが唯一の救いでした。

結果、合格だったのでほっとしました。

◆名前を見た瞬間、体の力が抜けました。振り返ってみると、ものすごい量をやってきたなと気持ちです。

もし、落ちてたらまたこの繰り返しかと思うと逃げたくなくなります。

◎通信添削がなによりも良かったです。資格学校ではない丁寧な指導とリアルタイムで他の生徒の図面を見れることが、合格する図面の目を養うことができました。そして、他の人のがんばりや苦しみもネット上で共有できたことで、自分もがんばろう思いました。

テキスト類: 誤字脱字、手作り感のテキストが僕的には良かったです。講師の方々も時間ぎりぎりのとこまで考えて、

制作しているのが伝わってきました。もちろん、まちがいが少ない方がいいのですが 笑

しかし、まちがいがあってもすぐに訂正されるので良かったです。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

来期へのご要望 =もっと早く知ることができたらと思いましたが、これから受ける受験生のために宣伝をお願いします。僕も勧めます。ありがとうございました。お世話になりました。

<zone>今年の沖繩勢は本当にがんばりましたねー。誤字脱字のスピード感と臨場感。でもこれはちょっといただけません。なくすことはできないにしてももう少し減らしていきたいと思います。

ご迷惑をおかけしたのに、暖かい激励ありがとうございます。合格おめでとうございました。

■大分県 5回目以上 後半戦通信添削生 別サイト+学科製図.com 講習会参加アリ 40代 男性 O型

★ これまでは、入手できる課題を手当たり次第解いて、見直す事が無かったのですが、今年は、一つの課題に十分な時間をかけて勉強しました。後半戦通信添削で送られてくる課題をメインに+講習会の課題 + 模試 と利用して、他サイトは添削無しコースで課題のみ入手して計画の要点の解答例のみ勉強しました。

● 試験当日は、道路斜線等の法規は設計事務所に勤めているおかげで問題なく、エスキースも予定通りの時間で出来ました。計画の要点を書き上げるのに1時間 40分もかかり作図時間が予定より少なくなって、焦りました。

伏図の見下げの指定、事務所の家具のレイアウト、照明計画は想定していなかった為、かなり動揺しました。

最後は時間が無くなって、フリーハンドで、何とか書き上げましたがかなり汚い図面でしたので、今年もダメだと思いました。机はレイアウトを考えず要求された個数を書いただけ。照明計画は計算できないので、適当に割り振って書き込みました。結果的に計画の要点を十分書いた事図面は汚くてもあきらめずに書き上げた事が良かったと思います。

◆ 何度も不合格だったので、合格したのはもちろん嬉しいのですが、長かった受験勉強から開放される事の方がより嬉しいです。今年は、仕事が少なかった為、勉強する時間が取れたと思います。おまけに夏は三週間入院して、その期間仕事をせずに製図の勉強に集中し病院のベットの机でフリーハンドでの図面を練習していました。

しかし、10月6日に父親が亡くなり、生きているうちに合格の報告が出来なかった事が残念です。

試験前だったので、計画の要点の解答例だけ葬祭場にもって行き、時間が有る時は、計画の要点の解答例を勉強しました。夜中の葬祭場で一人廊下で勉強している時はちょっと怖かったですが、勉強していて良かったです。

◎ 通信添削はもちろんですが、講習会は昼食付き(地方のみですが)で価格も良心的でお勧めです。

先生の講習を聞いているとなぜか課題が解けそうな気になります。独学では得られない試験に関する色々な情報、噂も役立ちましたし他の方の解答を見れた事、解答の問題点を先生が指摘するのを聞いたのは良い経験でした。

講習会終了後、近隣の事務所ビルを見学したのも貴重な体験でした。

満足度 = 学科製図.comの内容には大変満足している

来期へのご要望 = サイトの使用方法がよく分からなかったのでほとんど活用せず、ブログを見たり解答等の資料をダウンロードするだけでした。年齢のせいなのか、僕はちょっと馴染めなかったです。

<zone>夜の事務所ビル見学は私も初めての試みでしたが楽しかったですねー、今となってはよい思い出です。亡き御尊父様もきっと喜ばれていることでしょう。これからはより大きな使命に向けてがんばって下さい。

合格おめでとうございました。

■都道府県未記入 初受験 アイテム購入者 資格学校+学科製図.com 30代 女性 B型

★ 資格学校だけではエスキースの手法や課題に対する自己分析など不十分であると判断し常に他の情報を収集し続けたことに勝因があったのではと思います。特にエスキースに行き詰ったとき学科製図.comさんのHP公開動画に出会い救われました。頭で理解するタイプなので、エスキースという抽象的な思考作業を明確に言語化して図化していく内容は自分に合っていたようで、大変理解が深まりました。

9月の連休前だったのでエスキースDVDとパーツ集、作図手法など自分の苦手補強となるツールを即購入、連休中にDVDにより自分なりのエスキースパターンを固められたことは大きな自信に繋がりました。

● エスキースから作図までの各々の過程で、割り切りと判断の連続を順を追って行えたことでしょうか。

作図量の多さや敷地形状、初めてみる照明計画、今までの自分の作図スピードから判断し、エスキースを早々に終わらせるという割り切りをしたと共に、図面書き込みや計画の要点・要求項目への対応は最後まで粘り強く、しがみつこうに取り組んでいたと思います。試験終了時はやるだけのことはできた、という充実感がありました。しかし試験後1階プランに関しては自分と同じ標準解答例が全く無く、ミスもあったため資格学校の評価は低いものでした。

今回結果は吉と出ましたが、紙一重だったのかも知れないと思っています。

◆ 製図は初受験でしたが学科で何度も落ちており、資格学校の評価の低さからもう一年の覚悟をしていました。

ストイックな生活を続けることに免疫ができすぎているのか、出された籠の周りをよたよた歩いている小鳥のような状態です。これから少しずつ、羽を慣らしていければと思います。

私の場合は、資格学校だけでは結果を出せなかつたろうと思っています。納得できないことがあると身動きが取れなくなる性格なので、学科製図.comさんのツールやブログのメンタルな助言に本当に助けられました。

ありがとうございました。

◎ 実際使ったものの評価しかできませんがエスキース DVD、パーツ集、エスキース FAQ、エマーゲンシーマニュアルが自分には合っていました。

もし不合格だった場合は添削・講習会・作図 DVD を利用したいと思っていました。

満足度 = まあ、この程度の内容ならよいと思う

来期へのご要望 = 試験が変わり、特設掲示板の内容からも合否判定の基準の不明など様々な問題があるようです。しかし現状の資格学校2社寡占や受験生の苦しみを考えたとき、学科製図.comさんの存在は本当に貴重な存在であり、今後も活動の継続と発展を心より願っております。

<zone>この試験は難しい試験ではありません。しかしその重要な部分をつかむためには何らかのきっかけが必要です。その一助となることができ本当にうれしいです。小鳥と言わず大きな翼を身につけがばって下さい。

合格おめでとうございました。

■大阪府 4 回目 前半戦からの通信添削生 学科製図.com のみ 30 代 男性 O 型

★ 今年は学校には行かずこれ一本でした。去年学校では、そこそこいけてましたが不合格。資格学校では結局本番で追い込めないのではと思い製図.comだけに絞りました。

前半戦から参加させていただき、そこでもそこそこいけてました(ほんまか?)。が、後半戦に急にトーンダウン。新方式に対応できずかなりやばい感じになりました。

あらためてウイークポイントがはっきりした感じで、基本に返ることを重点的にして復習を繰り返しました。しかし、シンク口模試も失格と追い込みもやばく、弱点そのまま改善されずといった感じで本番でした。勝因なのかどうか分かりませんが、自分が失敗している所で失敗しなかった点だと思えます。ミスに気が付けられたということが一番のポイントでした。実際、今までの不合格はどこが悪かった分からなかったし、間違いを直視しなかった。メンタル面の自己防衛で根本的なことをうやむやにする。ポジティブシンキングだといって来期に掛ける。分かっている人は見えるけど、分からない人気づかなく見えない。当たり前なことだけど其処が克服しにくいところです。

テクニック+メンタルのバランスがどうも重要のようで、私の場合テクニックは 3 回製図試験準備(実際は学科あしきりで失敗をいれれば 4 回)やればなんとなく備わってきてしまい、余計に弱点が見えなくなっていた状態のようでした。学校だと問題量でごまかされ、「ミスの気づき」ができない点が問題だったと思えます。

最後の一題が解けなく THE END でした。

● 前述のようにミスに気がつけるかどうかは私の課題でした。案の定試験当日ミスしてました。途中まで試験元の思う壺でした。気が高ぶって文章が頭に入ってこず、エスキースも 2 時間ぐらいで完成で、作図スタート。周りもそろそろ早いやつは書き始めてる、通り芯+柱+捨て線まで書き、今回はいけそうだと思いました。が、なんか解けすぎてないか?と思もう一度問題を読み込む。案の定、斜線やられていて配置をやり直す羽目に。消さずに敷地線をバツしていくか?書き直すか? 怒涛の汗。敷地線をバツして進めてもいいとは聞かぬがミスしたままなんかカッコ悪い。迷う時間なく消すと決め再スタート。かなりロスしました。まわりは書き込みばっちりといった感じだし今回みんなそこそこできるはずだから図面精度(きれいさ含め)勝負かと思ってました。がその読みは間違いで合格できました。当り前の話かもしれませんが図面精度ばかりが合否ポイントではなかったようです。私は書き忘れかなりあると思えます。けど合格できたのは途中ミスに気がつき修正できた 1 点に尽きると思えます。

参考にならないと思えますが、合格できたのは、学科製図.comでの不調がよかつた点にあります。最終の本番で「ミスの気づき」生かせることにつきます。復習の仕方にかなりポイントがあつたと思えます。読みのミスなのか、基本知識不足によるものなのか細かく分析することを日々訓練としてできたのが良かったんだと思えます。「量」より「質」。ずっといわれてきたことですが、学校だと量が多すぎて私には合いませんでした。本音を言うと学科製図.comの量で十分かとかなり不安でしたが学科製図.comに集中した点(実際それしか資料がなかったし市販本、学校の無料資料では不安になるだけでした)が良かったと思えます。

ちなみに「途中の一呼吸」がききました。よくよく考えるとこれができるかどうかでした。6時間30分苦しくてヘビーな時間です。

◆ いままで資格をとるのに多くの時間とお金を使ってきました。廻りの支えなくして資格は取れなかったと思えます。結果が重要ではありますが、それまでのプロセスはそれ以上に重要だと思えます。今後、多くの人に恩返しできるように、日々精進し切磋琢磨したいと思っています。

満足度 = より内容の充実が必要だと思う

来期へのご要望 =学科製図.com では復習のプロセスの見える化を徹底していただけたらいいと思います。
<zone>「復習のプロセスの見える化」ですね！ それ結構重要なキーワードです。ちょっと検討してみます。なるほど。
合格おめでとうございます。これからも「途中の一呼吸」を忘れずに。

■神奈川県 5 回目以上 メルマガ読者 資格学校のみ 30代 男性 A型

●資格学校の長期製図に 2 月より受講するとともに、資格学校に流される事の無い様に、常に外部からの情報を確認する様にした。

①資格学院の授業では、課題発表以降常に、A ランクを取れる様、課題文の出題主旨に注意した。

②1 日の勉強ペースを確立した。

⇒4 時起床(6 時までの 2 時間での作図スピード強化)

⇒始業 1 時間半前に出勤して、1 時間半でのエスキース強化

③会社関係の飲み会への不参加

以上の徹底が、勝因です。

●建物は、利用者動線の明確化・構造シンプル・近隣配慮を明確にしました。

①西側公園緩和有りだと判断し、31M以下で、1 階ショールーム階高 6M・天高 4Mで計画。

②事務所及び会議室を片コアとし、東西 7M×5 コマ・南北 7・8・8 スパンを採用

③1 階地下駐車場から事務所コアへの明快な動線確保

④1 階事務所コアへのセキュリティ配慮

⑤設備スペースの配慮(電気室・増圧ポンプ・消化ポンプ室・PS・EPS・室外機置場)

⑥近隣配慮(緩衝離隔<南 6M・東 4M>・事務所窓に型ガラス採用)

⑦作図時間管理徹底(①エスキース 1 時間半・②計画要点 45 分・③作図 3 時間 45 分)

⇒作図スピードは、MAX2 時間 45 分有れば、昨年(H20 年)課題程度であれば、

十分な記載が出来る様、鍛錬しましたので、①⇒②の終了時点で、約3時間半を残したので、
作図完成後のチェックが、30分程度みっちり確認出来ました。

◆昨年のランク4から、十分な準備を重ねて、合格をようやく勝ち取る事が出来ました。学科の初受験から約 15 年が経過し、
途中挫折しながらも全てが終わりました。合格発表で合格を知ったのは、家内からの涙の電話でした。

此れまで、影で支えてくれた家内には、本当に感謝の気持ち一杯になりました。新たな気持ちで、様々な視野を持ち仕事に邁進
したいと思います。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

来期へのご要望 =資格学校の指導では、今年のような自由設計に対応しきれないと思います。事実、資格学校の長期製図
に通学していましたが、12 人クラスの内、4 名のみ合格となりました。当面は、新試験の検証の上で、新たな学科製図.com と
成って頂きたいと思いました。

又、ケンプラッツへの新試験検証は、各資格学校の偏った(自校の正当化)ものとは違い、しっかりとした内容で、試験場での戦
いを、呼び起させる内容でした。

<zone>長い間支えてくれた皆さんへのお気持ちが伝わってきました。長かったかもしれませんが大きな意味がそこにはあるのではな
いかと思っています。合格おめでとうございます。

■千葉県 4 回目 その他 資格学校のみ 再現図アリ 30代 男性 O型

★4回受けましたが落ちてあきらめないことが一番だったと思います。不安はありましたが長年の経験と自信はあったと思います。
あと製図は今まである程度書けばエスキースも作図もそこそこまで行くんですけど合格までのレベルに達していなかったと思います。
だから今回はもっと深く勉強しようと思いました。製図を学科の延長と思い、設備や構造のことも製図に生かせるようにしました。
今回は今まで以上に全体的なバランスを見ていたと思います。特に製図と文章の整合性が重要だった気がします。だからいくら
再現図の成績がよくても落ちている人がいたのだと思います。

●試験当日は 4 回受けているのである程度リラックスできたと思います。それが一番の勝因だったと思います。あとエスキースが終
わったらA3 番の文章を書いたのもよかったと思います。文章と不整合だと思えばエスキースをすぐに直せる事ができたし、文章が
終わるとあとは作図だけなので安心感も出ます。

◆4 回受けていたので今年こそは絶対合格だと確信しながら勉強しました。本当に受かってよかったと思っています。自分の番号

があった時はほんと泣きそうでした。

満足度 = まあ、この程度の内容ならよいと思う

<zone>本当によく頑張りましたね。最後まで諦めない気持ちが大切です。これからもここを原点にがんばって下さい。合格おめでとうございました。

■島根県 3 回目 アイテム購入者 別サイト+学科製図.com 再現図アリ 40代 男性 A型

★ 昨年は角番落ちをしたため、製図は正味2ヶ月程度の学習期間でした。別サイトの後半戦の課題では、一度も「合格図面」の評価が得られませんでした。学科製図の後半戦シンクロ模試では、失格ではないものの、最下位に近い採点をされました。そんな私が合格できたのは、「課題文に明記されたことのみ成立させればよい」と開き直って本試験に挑んだからだと思いません。

● ○勝因

- ・貸事務室内のレイアウトをきちんと書き込んだこと(受付から応接、更衣室、倉庫、机・いす)。
- ・断面図をきちんと作図できたこと(「フリーアクセスフロア」の明記を忘れましたが)。
- ・1階のプランをシンプルにしたこと。
- ・チェック時間を 30 分程度確保できたこと(カーリフトから地下駐車場のアクセスができない、地下駐車場表示範囲不適切、ゴミ置場欠落、執務スペース表示忘れ、北側の道路斜線制限があやしい、平面図に耐力壁表示忘れのミス(梁伏図にのみ表示)をしてしまいました)

前述のようなミスを沢山した上に、少数派の「基準階南北軸のセンターコア方式」であったので正直「また来年」を覚悟していたのですが、jaeic のホームページで自分の名前を見た時には驚きました。結果的には、「致命的なミスはなく、一応建物として成立しています」ということなのだと思います。「なんでこんな図面が合格図面なんだ」と見る人によっては思うことでしょう。

◆ 昨年は試験終了時に不合格を確信していたとはいえ、昨年の年末は本当に辛かったです。気持の整理がつかないまま、「今始めなければ来年の合格はない。ここで止めるわけにはいかない。とにかく始動しよう。」と学科試験突破のための教材を購入しました。ハンドルネームも学科、製図共に突破してやるという思いから「toppa」に改め、21 年度の勉強を始めました。

惜しくも不合格だった方は、「なんで、あんなに勉強したのに・・・」、「また製図か・・・」、「学科からか・・・」など人によって様々な思いが交錯している事でしょう。不合格だった方は再現図面展等に参加して自分なりに本試験の分析をして、目一杯傷口に塩をすり込んで下さい。辛いでしょが、それが次回の本試験時に生かされることでしょう。

1度や2度くらい不合格だったからといって自分を責めないで下さい。挫折を乗り越えて、是非とも来年こそは合格を奪い取って下さい。

◎ エマージェンシーマニュアル

満足度 = まあ、この程度の内容ならよいと思う

<zone>本当に苦労の末の合格には価値があります。点数では計れないものがそこにはあるんですよ。本当に合格おめでとうございました。

■石川県 初受験 資格学校のみ 20代 男性 O型

★ ・問題を素直に読む。(学科製図.com の本で読みました)

- ・資格学校や学科製図.com の発信する情報を選択しながら自分の知識とする。
- ・作図時間を考えると S 造指定は有り得ないと想定し、S 造の作図方法は勉強しなかった。
- ・敷地条件や周辺環境からコアの種類を大体想像できるように色々な課題に目を通した。

● ・問題文をよく読み、素直に解釈してエスキースを完成させた。

・斜線制限にあたる範囲を確実に避けて建物を配置しても指定容積等を楽々クリアできたこと。

◆ 今回、製図初受験で不安がいっぱいでしたが、合格でした。合格してしまえばどうでも良いことになるのですが、やはり採点基準が不明確というのは試験制度として如何なものかと思えます。自分が描いた図面も実務では成立しないような図面なのに合格と言われると、一級建築士試験とは何を問うているのかと首をかしげたくります。

◎ 学科製図.com さんの教材等は活用しませんでした。プログや試験の予想・分析は拝見させて頂きました。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

<zone>初受験での合格おめでとうございました。冷静な判断、的確な反応、それが求められていたと思えます。

■宮城県 5 回目以上 後半戦添削生 資格学校+学科製図.com 講習会参加アリ 再現図アリ 40代 女性 A型

★1 月中にh20 年の再現図の各ランクを徹底的に分析し、合格図面とはどういうものかと把握したことで、目指すものが明確になりました。自分のミスをととても大切にしました。このミスを次に絶対にしないよう対策を立てると共に、どうすれば防げたか、正解は何かをノートに書きとめていました。各課題は時間の都合で、1 度しかやり直すことができませんでしたが、そのかわり、エスキースで苦手な箇所を何度も繰り返し、納得いくまでやり直しました。この試験は、ミスをしなければ合格できるとある時点で気づき、そこを重点的に攻めていきました、具体的には、ミスチェックをするタイミングをエスキースの手順の中に 3 箇所組み入れ、事務的に行うように練習しました。

作図では 3 時間を切ることを心がけ、1 日一枚を目標に、毎日とにかく手を動かすようにしました。

●この1年で学んだ知識や、ミスが“判断基準”となって、迷いが出たときに冷静に判断できたことが大きいです。

試験は独特の雰囲気なので、いつものペースでエスキースを進めるように心がけていました。今までは『ここまで描いたんだから、分かってよ』というような粗い図面を描いていましたが、今年は『採点者にわかりやすい図面』を描くよう心がけました。

◆合格という言葉聞いた時、頭の中が真っ白になりました。この言葉を聞くまで学科試験を含め 9 年かかりました。長かった……。でも、あきらめなければ夢が叶うというのは本当なんだと、実感しました。

ここまで、ご指導ありがとうございました。

◎ 通信添削:後半戦だけですが、真っ赤になって返ってくる添削図面に励まされ、妙に嬉しかったです。

テキスト類:エスキースのDVDは良かったです。あれで『ポイントの抽出』の意味がわかり、その後のエスキースの精度が数段上がりました。

講習会等:テキストを何回も読まなくては頭に入らなかったであろう内容が、たった1回の講習会で理解できました。講習会に参加して良かったです。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

<zone>仙台を盛り上げてくれてありがとうございました。とても充実した講習会を仙台でも行うことができました。これからが本番です。是非とも多方面でがんばって下さい。また夏期講習会には遊びに来て下さいね。合格おめでありがとうございました。

■北海道 3 回目 アイテム購入者 他の添削+学科製図.com 30代 男性 O型

★エスキース読本で基本的な部分を押さえたこと。

書店で市販されている、構造、設備の基本知識をまず入れてから、試験に望んだこと。

● 試験まで、仕事がものすごく忙しくて、たいした勉強ができず、結果、試験までの作図は3枚程度。

ほとんどあきらめていたので、試験は新制度ということもあり、どんなものか様子見程度でリラックスして臨んだのがよかったのかも。

◆ 不合格の方には、申し訳ないのですが、正直、何故自分が合格してのかわかりません。合格しても、やっとスタートラインにたったというような気持ちで、全然うれしくはありませんでした。とにかく、スタートラインにたっただけなので、これからいままで以上にいろんな勉強を重ねていこうと思います。

◎ エスキース読本、後半戦添削コース、作図法のDVD

満足度 = まあ、この程度の内容ならよいと思う

来期へのご要望 = 自分の仕事は構造設計が主(といっても小規模なものばかりですが)ですが、設備関係の知識が弱かったので、もう少し勉強したいのですが、こちらの設備関連の講座は今後も申し込めるのでしょうか？

<zone>設備関連に関しては、実務で学習していくのであれば、より実務的なテキストを購入された方がよいと思います。あくまで 6 時間半の試験にこだわった内容ですので、試験対策の域を超えていないからです。次のステップに進むに当たって、テキストを吟味するのも重要なスキルです。合格おめでありがとうございました。

■千葉県 4 回目 後半戦通信添削生 資格学校+学科製図.com 講習会参加アリ 30代 男性 A型

★4回目の製図試験でしたが、作図量としては今までと殆ど変わらない枚数(20~30 枚)でした。

今回までは、前日近くまで新しいエスキースに手を出していましたが今回はラスト1週間の時点では新しい問題に手を出しませんでした。今まで解いてきた問題(資格学校と後半戦通信課題)の分析に時間を掛けました。

① コア形状 ② 展示ホール ③ 共用・管理 ④ 駐車場

⑤ 広場 ⑥ 敷地形状 ⑦ その他 ①~⑦を分析してノートに書き写しました。

残りの1週間でこの学習方法に切り替え、徹底的に分析しました。

●片側コア(2パターン)→センターコア(南北事務室)で計画することを決定しました。

2室とも西側の良環境の恩恵を受けるように計画しました。

南側にカフェテラスを配置し、道路を挟んで南側の一戸建て住宅との一体性を考慮した計画にしました。

とにかく書き漏れがないように最後の最後まで書き続けたことが良い結果に繋がったと思います。

◆とにかく今は合格してホッとしております。

ただ、zone先生が言っておられるとおり合格はあくまでも通過点に過ぎないと思います。

この資格取得者として相応しい人物になれるように精進していきたいと思います。

◎通信添削・・・かなり役立ちました。

テキスト類・・・構造・設備テキストがかなり役立ちました。

満足度 = 学科製図.comの内容には大変満足している

<zone>冷静さを手に入れた瞬間に合格したいという気持ちの向こうに行けたのだと思います。よかったですね。

合格おめでとうございました。と共にこれがスタートラインですから勝って兜の緒を締めよとの思いでこれからもがんばって下さい。

■岐阜県 4回目 前半戦からの添削生 資格学校+学科製図.com 講習会参加アリ 再現図アリ 30代 女性 O型

★資格学校は、添削(どこをミスしたらどれだけ減点になるか)と、課題が多いので自分がよく間違える箇所の発見を重視して取り組みました。私自身エスキースに不安があり、学校ではエスキースはあまり指導を受けないので、学科製図でしっかり勉強しようと思い前半から受けさせていただきました。学科製図の方法でエスキースをしますと、確かに時間はかかりますが間違った方向に進んで気がついた時に、戻るポイント(間違えた所)が探しやすいのが大きかったです。そして最後の zone 先生の資料と、12月に入ってからメルマガの zone 先生のお言葉が、メンタル面で非常に心強かつし励みになりました。

●今からエスキースを見てみますと、チビコプランの動線・配置が明らかにまずい方向へ向かっていました。1/400では合格図面のプランに修正されていましたので、最初の方は落ち着いていつもでもテンパっていたのだと思います。試験当日は素晴らしいプランは出来る筈はなく、きつと悪い方面がでがちだと思いますが学科製図のエスキース方法で普段通りに進めて行く事を心がけていたので、最終的にはそれなりにまとまったプランが出来たのだと思います。あと、やはり途中心が折れそうな時がありましたが、大きく深呼吸して.com タオルを見つめたのが何回かありました。タオル持っていってよかったです。

◆合格したのがまだ実感が沸きませんが、去年の失敗を自分なりに分析して今年は去年とは違う学習方法で取り組みました。自分だけの力ではなく周りの方々の暖かい気持ちがあって、長年受験していましたがやっと今年合格しました。これからは建築士としての責任を持ち、勉強を続けていき、気を引きしめて頑張っていこうと思います。周りの応援して下さい下さった方々への恩返しをしていきたいです。

◎通信添削 わかるエスキース、後半戦添削、H21年度の資料、講習会等はお盆の講習会

満足度 = 学科製図.comの内容には大変満足している

来期へのご要望 = 学科製図.com はヒューマンな感じがあって、好きです。ご連絡遅れてしまい、申し訳ございません。毎回課題の裏にかいてある zone 先生のお言葉を楽しみにしていました。ご指導、ありがとうございました。

<zone>もう裏書きできないかと思うと少し寂しいですが、合格本当におめでとうございました。これからですよ、これから。人生がさらに面白くなるのは、この練習をベースにより大きくステップアップしていきましょう。

■福井県 2回目 後半戦通信添削生 学科製図.comのみ 再現図アリ 40代 男性 A型

★後半戦通信添削を、主に勉強しておりました。とにかく、期日までに提出すること、最初にできたプランで課題を提出し、添削をしていただき自分なりに分析してきたつもりです。試験前の1週間は、全ての課題のエスキースをやり直し、前日はシンクロを製図(定規を使って)してウォーミングアップしました

●決定的勝因は、はっきり分かりません。シンクロで指摘された部分(什器配置・照明配置等)の減点が低かったのではないのでしょうか。あとは 東・南の住居に対して配慮した点が評価されたのか?(合格したから言えるのですが)

◆試験終了後は、にわかに”できたかも”と思いましたが帰りの電車の中で、3点の不備を見つけました。

その後、あまりにも 東・南に対して 配慮(遠慮)した点がマイナスと受けられるのでは?という思いは強くなっていったように思います。大きくはずしたとは、思いませんでした。減点がどれくらいかということで、来年の学科試験準備の心構えもしていたところでした。

◎後半戦通信添削ですね。

満足度 = まあ、この程度の内容ならよいと思う

来期へのご要望 = 添削の返却を、なるべく早くしてほしい。次の課題の前に、前回の添削が帰ってきているとその部分を修正して新しい課題に取り組めると思いました。課題毎に、自分の新たな問題点を認識するようにしたかった。そのあたりの改善をお願いできればと思います。

<zone>ご指摘ありがとうございます。その改善ができれば本当に学科製図.com はかなり素晴らしいと思うのですが、それはできないのが現状です。もう一度今年システム自体を見直します。アドバイスありがとうございました。合格おめでとうございます。

■宮城県 2回目 後半戦通信添削生 学科製図.comのみ 講習会参加アリ 再現図アリ 20代 男性 AB型

★ 後半戦からの通信コースを受講し、所定の課程どおり挑戦、添削を行ってもらいました。

去年は資格学校のカリキュラムどおり課題を解いていたのですが、数をこなせばよいというのではないとわかりました。数少ない課題のなかで、いかに集中し多く学ぶことができるかが、重要なカギだったと思います。本通信添削では、他受講生の答案図面が公開されるため、色々な考え方やパターン、作図表現などが得られるところが利点だと思います。そのほかパーツの暗記と自分のパーツまとめを行ったこと、作図時間を細切れにせず、まとめて確保したことと思います。

● とにかく、去年は焦ったことが一番の敗因と分析しているため、今年は絶対焦らないことを目標にしていました。

試験時間は1時間増えたものの、その分余裕が出るわけではなく、新制度初の出題形式ともあり、初見はさすがに焦りましたが、まずできること、変わらないことから潰していき、順調にエスキースを終えました。ところが、作図に入って1時間後、エスキースでは気付かなかった危険と思われるミスが発覚し、がく然としました。しかし、あきらめずに修正し、なんとか書き終えたことが結果につながったのではと思っています。とにかく時間がある限り、粘り強く攻めたことがよかったです。

◆ 正直、合格でも不合格でも疑問が残る図面でした。そのくらい、合否ポイントがあいまいなこの試験ですが、多分思うのは、全てにおいて大多数であることではないでしょうか。例えば、アプローチは二通り考えられたが大多数の方で、レクタブル比は75%以上でなどなど、アクロバティックなやり方や、実務ではありえるが…や、〇市条例では…など無理な理屈をつけずに済む回答が、もしかしたら合格に近いかもしれないですし、何より試験後の不安が一番少ないです。

◎ 一番のお勧めは「わかるエスキース」とエスキース読本だと思います。ただしそれは h20 までの旧制度の話で、あのパズルのプランを面白いほど解けるようになる最高の教則本だったと思います。新制度では、いや h21 の場合、プランニングにはパズル要素がほとんどなかったため、今年初受験の方にはこの感銘はあまり理解されないと思います。ほか、パーツ集とその考え方は非常に参考になると思います。課題と添削は、好みが分かれると思いますが、他受講生の答案図が公表されるのが特徴的で、大変参考になるやり方だと思います。

満足度 = より内容の充実が必要だと思う

来期へのご要望 = 新制度1年目ということで、レスポンスの鈍さや、スケジュール通りにいかなかった部分は許容だと思いますが、来年度からはそうは言ってもらえないと思います。学科製図を信頼しているがための厳しい意見です。

また、自分で考えることを重要とされていますが、抽象的でわからない部分が多々ありました。例えばこうとか、具体的な説明をしてほしいです。ぜひ、資格学校に負けないうらいの課題添削、アイテムを産出して下さい。

<zone>敢えて厳しいご意見ありがとうございます。抽象的な回答の仕方については、考える余地を残すということと単に曖昧にするというのは微妙に異なります。その相克で私もコントロールすることで必死でした。

さらなるバージョンアップを今年はめざしますね。ありがとう、そして合格おめでとう！仙台でまたお会いしましょう。

■大阪府 2回目 前半戦からの通信添削生 学科製図.comのみ 講習会参加アリ 再現図アリ 40代 女性 A型

★学科製図.com の指導にかなり忠実に従いました。資格学校に通学していた去年はとにかくミスをしないように気をつける、がむしゃらにがんばるという姿勢でのぞみ、惨敗しました。

自分が思っているよりも数段ミスしやすいことを認め、ミスはどこで始まっているか、どこで時間がかかっているかをエスキースの復習で分析しました。また他の受講生のプランもみて自分もしそうなミスの洗い出しもしました。そして問題点ひとつひとつに対策を考え読解→エスキース→製図の手順に組み込みました。直前1週間はコア内のプランニング、製図では断面図、梁伏せ図をタイムを計って反復練習をし、時間短縮につとめました。

どれもベースは添削や講習会でアドバイスいただいたことです。問題点はなにか探り出し、それに対する具体的な対策を練るということはこの試験で終わりにせず、今後の日々の生活や仕事にも役立てていきたいです。

また、講習会や自主勉強会にもできるだけ参加しました。先生や同じ目的を持つ仲間と直接会え、とても有意義な時間が過ごせました。

● 当日の目標は『いつもの手順で合格図面をかく！』でした。細かく手順を積み上げていたので、手順に従って進めていくことにより自然と緊張はなくなっていました。完璧な図面はかけませんでしたが、試験終了の瞬間は「悔いの無い図面がかけた」と思いました。(すぐに悔いはあとからあとからつもって、2ヶ月間苦しみました)

◆ この合格は決して自分ひとりで成し得たものではありません。zone 先生をはじめとする講師のみなさんや自主勉強会の仲間のささえのおかげです。いままでさんざん迷惑をかけてきた家族のおかげです。

みなさん本当にありがとうございました。

◎ 講習会は内容が濃くおすすめです。

特に関西の方！ zone 先生のホームベースでとことん相談にのってもらえます。

学習アイテムではないですが、自主勉強会もおすすめです。独学ではなかなかできない実践ながらのタイムアタックができます。

その後のディスカッションも充実していました。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

<zone>力も十分ある方なので、イージーミスをなくすことを重点においた精神戦の戦いでしたがよく勝ち抜きました。非常に素晴らしい戦い方だったと思います。そのストイックさは今後いろんな意味で生きてくると思います。これからの新たな船出が楽しみです。合格おめでとうございました。

■愛知県 2 回目 前半戦からの添削生 資格学校+学科製図.com 講習会参加アリ再現図アリ 30代 男性 A 型

★ ・会社を辞めて、試験勉強と家業(板金業)をやっていました。十分に勉強時間を確保できたので、復習やエスキースのやり直しなど、一つの課題に時間をかけられました。・資格学校だけだったら、今年もダメだったと思います。

通信添削前半戦で自分なりに解くプロセスを身につけられたのが大きかったと思います。そのおかげでどんな建物でもある程度は解ける自信を付けることができました。

● <気になっていた点>

・地下駐車場の大きさは最後まで分かりませんでしたが、範囲指定のみだったので、早々にあきらめ面積不足による減点は覚悟しました。

・ターンテーブルの大きさを見誤ってしまいました。壁をずらして対応しました。

・はじめ、駐車場から出入り口までの動線が交差していましたが、終了間際に気づいて直しました。

・オープンスペースから主出入口までの動線とショールームへの車搬入動線が交差していることに終わってから気づいたのですが、どう判断されたのかは不明です。

<当日について>

・わりと早い段階で簡単じゃないかと感じました。しかし、エスキースが終わってみると、いつも通り2時間半しっかりかかっていたので、計画の要点を最低限の書き込みにして、図面の書き込みに時間を割きました。

◆ やっと足の裏のご飯粒がとれました。

総合資格の再現図採点が「B」判定だったのでちょっとあきらめていました。しかし、学科製図.comは高得点だったのでますます不安に？なりました。

◎ 通信添削と講習会のセットはすばらしかった。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

来期へのご要望 = 機会があれば知人にもこちらのことを紹介したいと思います。

<zone>よい戦いぶりだったと思います。これからは一級建築士として新しい可能性に挑戦してください。合格おめでとうございました。

■大阪府 4 回目 前半戦からの添削生 資格学校+学科製図.com 講習会参加アリ再現図アリ 30代 女性 B 型

★曖昧な点の完全な理解と自分自身の解釈を詰めていくこと。

試験勉強に対してのマンネリ化をいかに楽しんでイヤにならない様にすることで勉強時間を長く確保できたと思います。資格学校の解釈に納得出来ない箇所が多々あったので学科製図.com の勉強は新たな視点での解釈ができ、理解していく事が出来たので楽しんで勉強を進めました。

● 今までしたミスだけは絶対しないように、またいつも通りを心がけました。

◆ 切望した合格ですが、時間が掛かった為か嬉しいことに違いないのですがゴールではないという思いが強いです。

ただ今まで勉強してきた過程で出会った方々、悔しかった思いを乗り越えての試験勉強、まわりの方々の温かい気持ち等の貴

重なる経験が何にもがえがたい自分の財産、力になった事への発見がとても嬉しいです。

◎ 講習会等→先生の話がダイレクトに聞けるのでテキストだけでは不十分な箇所がよく理解できる。

またプラス思考で試験に臨めました。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

<zone>本当に力がついた 1 年でしたね。努力していることが伝わってきました。その「圧」が合格へ導いたのだと思います。特に文字の練習は相当やったのではないのでしょうか。本当に合否に係わらずうれしく思っていました。これからはこの時間を持ってたことをプライドに一級建築士として精進していきましょう。合格おめでとうございました。

■神奈川県 2 回目 アイテム購入者 学科製図.com のみ 講習会参加アリ 30 代 男性 B 型

★=学習方法=8月までは自分のエスキースのパターンを確立する為に『エスキース読本』を使って学習。

8月以降は zone-ton 塾に入り、

- ・土曜日:塾 ・日曜日:塾生有志で集まり自習室で課題を 6.5h で作図 →ディスカッション
- ・平日:自分の弱い点・気になる点のまとめ

というペースで学習してきました。

昨年私はEVを見落として不合格になっていたのですが、どんな場合でも見落としをしない為の方法を身につけなければ何度やっても安定しないと思い、時間内に効率的に読解・見直しをする方法を探してきました。

その為に課題は全て実戦スタイルでやり、時間の掛け方に注意しながら課題に取り組んでいました。

勝因としては、自分のペースを見つけられた事かな、と思います。

● どこまで冷静になれるか、かな。

◆ 去年学科を本気でやり、学科:合格、製図:NG。11月から丸一年試験を見据え、特に8月から3ヶ月製図試験を最優先してきました。色々犠牲にするものが多いので、合格の喜びよりも安堵感が先でした。合否の境は紙一重、又は無いに等しいと思いますが、結果は雲泥の差になってしまう。とりあえず良かった。。。来年は又新たなチャレンジをしようと思ってます。

◎ “エスキース読本” エスキースのDVDは良かったです。臨場感あって。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

課題の精度をもう少し上げて欲しかった。

<zone>合格おめでとうございました。課題の精度はあれ以上は上がりません。本試験ですら精度に欠けるくらいがあるくらいですから。しかし慢心することなくさらに精度についても再考してみます。アドバイスありがとうございました。これからは一級建築士としてがんばって下さい。

■ランク1 千葉県 3 回目 アイテム購入者 学科製図.com のみ 30 代 女性 B 型

★3度目の製図でした。去年までは資格学校に通っており細かい減点(あくまで資格学校が基準とする減点項目ですが)を気にするあまり、エスキースの段階で少しずつプランに無理が生じてしまっていた事が今までの敗因だと思います。そのため作図に入っても気になる箇所がたくさん出てきて、描き直しが多かったです。

今回学科製図.com のテキストのみの完全な独学でしたが、基本的な事をしっかり抑える事が出来たので試験の最中も慌てる事なく出来た事が勝因だったと思います。

試験前は色々な情報量の多さに焦りがちですが、周りにまどわされずに臨めたのが良かったのでは、と思います。

● zone 先生のおっしゃった、エスキース用紙にポイントとなる項目の洗い出しがエスキースをかなりわかりやすくさせたと思います。とにかく、そのポイントを見比べながらエスキースをしたので、作図に入っても出戻りなく最後まで描ききる事ができました。不合格だった年のエスキース用紙と、合格した年のエスキース用紙を見比べましたが、合格した年は 2 案くらいパターンを考えており、両パターンの良い点、悪い点を書き出してそれから 1 案にしぼるという順序を踏んでました。(これはシンクロニ模試の zone 先生のエスキース方法を真似たものでした)

不合格の年はとにかく早く作図に入りたいがために、いきなり 1 案にしぼって詰めていたようです。周りがエスキースを始めると焦りがちですが、冷静な分析も大切だと改めて思いました。あとは、市販されている事務所建築の事例集を買って暇さえあれば設計事例を眺めてました。地下駐車場の事例集も多くあったので、当日の出題にも焦らず出来ました。

◆ 製図で 2 度落ちるといふ悔しい思いをしました。今年は新制度に変わったので、受けるのを止めようと何度も思いましたが、やはり受けて良かったです。

◎ 通信添削:シンクロニ模試のみ受けましたが、非常に良かったです。細かく添削されかつ解説もわかりやすかったです。多くの

ポイントが試験で役立ちました。

テキスト類: エスキース、構造、設備のテキストは非常にわかりやすく良かったです。これ一冊で充分試験に対応出来ると思います。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

<zone>製図試験の角番落ちというのは大変厳しい精神状況を作るであろうと思います。その中でよく頑張りましたね。シンクロ二模試で必要なものを全てつかんでくれてありがとう。合格おめでとうございました。

■愛知県 初受験 資格学校のみ 30代 男性 A型

★ 普段から設計業務をしている訳ではありませんので、資格学校から教えられるまま課題をこなす以外、選択肢はありませんでした。本試験の2週間前まで、制限時間の6時間半で書き切れた事がなかった為、とにかく早く書けるよう、「なるべく単純なプランで」「変則的なスパンは使わない」を意識してエスキースをしていたのが結果として良かったのかとも思います。自分の作図速度では、手戻りがあれば間違いなく書き切れませんでしたのでエスキースの段階で、完全に面積条件をチェックしてしまい、作図に入ったら「電卓に触らない」事をまず目標にして時間配分しました。

動線計画が単純な事務所ビルだからできましたが、他の課題でもこのような段取りで自分が作図できたかは疑問です。資格学校の課題と復習、模擬試験だけで9月いっぱいまでは全く余裕がなかったのですが、本試験の一週間程前にたまたまネットで知ったシンクロ二模試を受講したのが「学科製図.com」との出会いです。構造やコアプランなどの考え方が資格学校と全く違い、とても新鮮でした。

● 自分の実力では変則的なスパン割はできませんので、最初のプランでエスキースがうまく納まったのが一番の勝因だと思います。普段の課題でも、2プラン目を作った段階でいつも時間オーバーでした。

とにかく作図が遅いので、優先順位を付けて「書かなくても小減点」と思われるモノは後回し。その代わりに「書け」と問題文に書いてある部分は見落としがないかエスキースの段階で2回通りチェックしました。条件として示される数値(面積や階数)は最初に蛍光ペンでチェックし後で確認しやすくにしましたが、これも有効だったように感じます。資格学校では基本的に「片側コア」ですべての課題を解いていましたが、前述のシンクロ二模試でそれ以外のコアプランを初めて経験できた事で、少しばかり余裕を持って臨めたのではないかと思います。

◆ 学科の学習から資格学校を利用しましたが、とにかく「お金のかかる試験だなあ」と…自分は所帯持ちの為、とにかくその一言に尽きます。追加の有料講座を後出しで示し、「合格者は毎年必ず受けています！」のような営業トークで受講を促すような資格学校のスタイルは、藁をもすがりたい受験生からとにかく金を引きたいように感じ、なんともやり切れません…そういった意味で、学科製図.comさんのような存在は有難いと思いますし、

今後もより充実した教材で、受験生のお力になって頂きたいと願います。実力相応の合格とはとても思えませんが、これからが勉強ですので、とにかく頑張る事に励みます。

最後に、模試で少し顔を出しただけの自分にさまざまなアドバイスを頂き、合格の助けをして頂いたナイトキャップさんや受講生の皆様にお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

<zone>いつも受講生に話すことですが、がんばってれば必ずまたどこかで会える日が来ると思っています。一級建築士となって、これからはよりよい社会の実現のためにがんばってください。合格おめでとうございました。またいつかお会いしましょう。

■大阪府 3回目 アイテム購入者 学科製図.comのみ 再現図アリ 60代以上 男性 O型

★h21攻略法を(迫力と誠意が滲んでいる6項目からなるエスキース手順)ベースに、後の資料はその復習のくりかえしでした。

● お蔭様で合格することができましたが、私の場合は、まず課題文に対して、答えることが出来る事からやっつける方針でこの試験にのぞみました。ちなみに、計画の要点における図面との整合性が問われない部分を先行して回答し整合性が問われる部分については、エスキースと同時並行的に計画の要点を回答しました。ようするに、エスキースより先に計画の要点を先に仕上げたという事です。結果論ですが、以上の手順によりエスキースにおける課題文に対する、全体像が見えたような気がいたしております。しかし、今になって思えばの話ですが、

◆ 合格の報にせし、この日は我が人生における最良の日でありました。

zone 先生はじめ、先生方に深くお礼申し上げます。

◎ 通信添削

私は、シンクロ模試は受験しなかったのですが、後のネット上での解説で、その意図するところが、わかるような気がいたしまして、こころ強く感じた次第です。また、エスキースアプローチの文章の言い回しが大変気に入っております。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

<zone>間違いなく今期の最高齢合格者です。その御年で受験されるパワー、そして合格を勝ち取る執念には本当に頭が下がります。合格おめでとうございました。大阪事務局にも是非お越し下さいませ。

■神奈川県 2 回目 後半戦通信添削生 資格学校+学科製図.com 再現図アリ 20 代 男性 A 型

★ まず職場で合格を宣言し、毎週土曜日に気兼ねなく休める環境作りをしておきました。睡眠時間は毎日必ず6時間以上を確保し、仕事も勉強も冴えた頭で能率的に取り組む事を重視しました。資格学校から出された課題はかなりの量がありましたが、全てをスケジュール通りこなしました。スケジュールを守るというプレッシャーを維持する事で、モチベーションの維持ができたと思います。毎週の課題で不明な点は、図面内に①②…と番号を添えて色ペンでわかり易くとことん書き込み、提出日に直接講師から回答を得て納得できるように工夫しました。各課題を入念に分析すると共に、多種多様なパターンの約 30 課題に取り組み、様々な免疫ができていたと思います。資格学校とは課題内容・教育方針ともに異なる学科製図.com については、補助的に後半戦通信添削を利用しました。特に、他の添削生の添削図面を PDF で大量に閲覧できる点が魅力的で、自分は偶然うまくいって指摘を受けた事の無い指摘事項も色々確認する事ができ、とても役に立ちました。

● 試験当日もいつも通りの生活スタイル・心境で会場に向かいました。製図試験2年目という事もあり、精神的にかなり余裕を持って臨めた点が大きかったと思います。課題文を見た時、去年までの定形的な構成とは異なっていましたが、いつも通り一字一句を丁寧に読み込んでみると結局はいつもとあまり変わらないなと思え、動揺する事なく冷静にエスキースができました。今年から計画の要点が A3 版 1 枚に大きく取り上げられ、字数制限も無かったので、かなり重視されている印象を持ちました。去年までは図面上で偶然つじつまが合っている、というような箇所が無いように、図面ではわからない根拠や考え方をとことん補足説明しました。図面の完成度という意味ではかなり説得力を持たせることができたと思います。

◆ 合格できて嬉しい、というよりもむしろホッとしました。相当な時間を費やす資格ですから。角番だったので今年は確実にいこうと思い、2ヶ月半ならという事で仕事以外の時間を徹底的に製図へ注ぎました。結果的に、製図2年目の今年は7月下旬～10月上旬までの2ヶ月半のみ勉強ただけで合格する事ができました。専門が設備だからという事もありますが、一級建築士の取得自体にはそれほど意味がなく、採点基準も曖昧で未熟な試験なので、膨大な時間を資格取得に費やすのもどうかと思っています。早期に取得し、むしろ実務経験をとことん積んで行く事のほうが重要だと思っているので、今回さくっと合格できて本当に良かったと思っています。

◎ 他の添削生の添削図面 PDF を大量に閲覧できる事が、学科製図.com の大きな特徴であり、メリットだと思っています。また、SNS で他の添削生の声が聞けたり日記を公開できるシステムは、モチベーションの維持に有効なツールでした。

満足度 = まあ、この程度の内容ならよいと思う

<zone>いつも SNS での書込楽しみにしておりました。かなり僅差の合格になったとは思いますが、その差をうまく勝ち抜けるだけの力があつたと思います。合格おめでとうございました。

■岡山県 4 回目 前半戦の通信添削生 資格学校+学科製図.com 講習会参加アリ再現図アリ 30 代 女性 O 型

★ 前半のみ通信添削で、後半は資格学校と講習会の参加にし、課題に追われることなく、自分のペースで勉強をすすめました。特に、資格学校の指導で納得のいかないところを講習会で解決できたり、講習会で得たノウハウを資格学校の課題で実践できたりと、両者を上手く活用できたのがよかったです。前半までは作図 DVD を見て、チェックしながら作図する手順を手覚えこませ、フリーハンドも取り入れて常に3時間以内で作図することにこだわりました。後半からは、常に「これが本試験だったらどうするか」を見据えて危機感をもって解くようにしました。

また、一度解いた課題は、「計画の要点」も含めて回答例を A4 に縮小コピーし、常に持ち歩いて、脳裏にやきつけるようにしました。試験直前には、キーワードに肉付けしていく方法で「計画の要点」を自分の言葉で整理し直したのがよかったです。

● 今回の試験は標準的な問題で、受験者の作図完成率は高いであろうと早い段階で判断したので、最低でも2時間以内にエスキースを終えて作図の密度を上げるよう時間配分しました。

また、「I-4.計画に当たっての留意事項」と「II-3.計画の要点等」で重複する内容が多かったので、ここを外してはならないと思い、要点を意識して計画しました。

その結果、練習していたよりも記述量が多かった(回答欄が大きかった)のもあり、記述に予定より15分余分にかかってしまいましたが、回答欄はほぼぎゅっと埋めて、その内容を作図で表現できました。

細かなミスは多々ありましたが、大枠を外していなかったのがよかったです。

◆ 合格を手に入れるまで、とても長くて苦しかったぶん、喜びもひとしおです。

試験勉強を通じて、論理的に積み上げること、時には割り切って優先順位をみて決定すること等、今までの自分に足りていなかったことを体得することができ、合格するまでに要した時間は、自分にとって必要な時間だったのだと思っています。これまで応援してくれた家族と友人、職場の方、zone 先生、皆さんのおかげで成し遂げることができ、本当に感謝しています。「一級建築士になる」と日々決意し、最後の最後まで諦めない気持ちが何よりも大切だとわかりました。

◎ 講習会

満足度 = まあ、この程度の内容ならよいと思う

来期へのご要望 = 不確定な情報は、受験生を翻弄させないように控えめにした方がいいと思います。

特に、試験直前は貴重な時間なので。例) 立体駐車場、センターコア等判断の難しいところですが。

<zone>ようやく長い長いトンネルを抜けたような感じですね。これからが勝負となります。本当に合格おめでとございました。岡山でも念願だった祝賀会しましょう。試験前の情報戦についてはそれをどう流すのか難しい判断がありますが再考します。

■千葉県 3 回目 アイテム購入者 学科製図.com のみ 30 代 男性 A 型

★試験のことだけを考えないようにしました。試験勉強を生活の中心とするのではなく、あくまでも試験は生活の一部であると考えないようにしました。自分の時間が足りないと試験だけを考えるようになるので、ある程度忙しいほうが良いと思います。昨年、子供が生まれて自分の時間が無くなり通勤時間や子供が寝た後の僅かな時間で勉強しました。毎日1時間程度と決め、集中して勉強するよう心がけました。学科の試験対策ですが、某予備校の過去問題集のみの独学でした。10回以上繰り返し解き、全て丸暗記できるまで勉強しました。

学科製図.com の添削結果は120点満点中117点。自分でも驚きました。新傾向問題が話題となっていますが、実際は問題の8割以上が過去問からの出題です。過去問だけで受かります。あまり色々な問題に手を出さないほうが良いと思います。製図試験ですが過去2回も資格学校に通い失敗しているので、金銭的に厳しく5万円程度しか予算がありませんでした。やむなく独学。資格学校は課題を多く出しますが、課題を提出させることに重点を置いており、課題から解答へのアプローチについての指導はほとんどないので、お金があつたとして3回目の資格学校はありませんでしたけど。少ない金額で問題を提供してくれる所を探していたら、出会ったのが学科製図.com でした。

教材費も安く、合格した先輩も利用したようだし、購入を決意しました。しかし添削の費用は無いので問題のみの購入でした。そこで私は、資格学校に通う友人から頂いた問題と学科製図.com の資料、問題を比較し今年度の製図課題対策を行いました。資格学校の問題は、ただパズルみたいに難しくしており、本来のエスキースを考えるには何かが足りませんでした。まあ図面の表現は非常に参考となりましたけど。しかし学科製図.com の問題は、考えさせるエスキースを教えてくださいました。中でもエスキース読本。本番まで20回以上繰り返し読みました。今回の本試験のエスキース

レベルでしたら正直、エスキース読本のみで対応できたと思います。すばらしい本です。構造と設備の本も購入し、そして添削も受けたかったのですが、お金が足りなくて・・・残念でした。

資格学校に通っていなかったのがイマイチ試験に対する緊張感がなく8月は風邪をひき、気づいたら試験一カ月前。今年から梁伏図の追加。書き方も知らん。しかも製図のプランが3年。手がうまく動かずトレースでも5時間以上かかるしまつ。なんとかせねばと、2日に1枚トレースすることを義務付けました。すると2週間で3時間以内で書けるように。しかし問題はプランだ。エスキースの苦手な僕は、とりえず1/400で解答例をフリーハンドでトレースしまくりました。動線、ゾーニングやスケール感を徹底的に叩き込みました。ただトレースするだけでなく、翌日は問題から1/400のエスキースにおこす。これをひたすら続けました。計画の要点については、友達から貰った資格学校の問題があつたのでひたすら暗記しました。

● 変形敷地、道路斜線制限に最初は驚きましたが、建ぺい率に余裕があつたのでそれほど問題にはなりません。一番焦ったのが地下の機械式駐車場の条件。「地下の機械式駐車場」条件の問題を学科製図.com の課題集でやったが、30台の具体的な設定が無かったはず。30台といわれてもどの程度の面積範囲とすればわからないが適当に500㎡ぐらいかなと設定しました。問題を読むにつれ、設計条件が少ない妙に自由度が広い問題だと思いました。

エスキースに2時間割きました。基準階プランは、センターコアタイプで東西に事務室を分けた状態で当初は計画をしていました。最終チェックのため再度問題を読むと、「2つのゾーンに区分し、それぞれ別のテナントにすることができるようにする」と書いてあり「二つの事務室を一つに利用できるように設定しなくてはならないのでは」と考えるようになり(早とちり?)もう一度エスキースをすることにしました。この時点で既に2時間30分経過。北側と西側にそれぞれ事務室を向け、1スパン分事務室が接続できるように設定しました。さらに1階のプランも見直し。再度、エスキースを行ったため3時間近く経過。30分で計画要点をまとめ、2.5時間で作図。残りの30分で見直しチェック。

面積や室名の記入漏れが3つほどありました。全体的に予定通り書き上がりました。過去の製図試験より充実した感がありまし

た。しかし家に帰り思い出してみると、多くのミスや不安な点がありました。13項目もあります。

- ①耐震壁の壁厚記入忘れ(致命的だと思いました。)
- ②開口周比アウトの耐震壁有
- ③ショールームの展示自動車が見えない(かなりマイナス?)
ショールームは2スパン北側道路に接しているが1スパン分荷解き室に利用している。しかもオープンスペースとの関連性がない。
またショールームと管理部門の動線がない。
- ④地下に設備スペース(消火設備等の)とドライエリアの記入忘れ
- ⑤オープンスペースの具体的な利用について要点に書いていない。
ただ北西に設け、カフェテラスに接しただけである。
オープンスペースと建物の関連性が気薄であるがオープンスペースを經由して玄関ホールへ行けるが・・・
- ⑥1階に共用のトイレがない。ただし、喫茶室とショールームにはそれぞれ単独のトイレを設けました。
- ⑦計画の要点の排煙については、自然排煙方式としたとしか書いていない
- ⑧喫茶室が150㎡とデカスギル。
- ⑨基準階で東と南には開口を設けないと計画要点には記載してあるのに、図面には非常用進入口の開口がある。
- ⑩センターコアタイプとしたが南側よりで耐震壁のバランスが悪い。
- ⑪荷解き室がショールーム専用とした。
- ⑫守衛室が貸事務室用とした。
- ⑬ショールームを考慮せず1階の階高4mとした・・・
- ①について試験の翌日思いだして目の前がクラクラ。

まあ③と⑤に対しては試験問題では要求されている内容ではありませんが・・・
マイナス面が目立ちますが、良い点もあったと思います。

- ・レントブル比が80%近いこと。
- ・事務室の一つが北側、もう一つが西側と環境の良い方面に向いている。
- ・事務室面積の一つは280㎡、もう一つは350㎡と大きくした。
- ・管理部門と地下駐車を南側に向けた。
- ・テラスを公園側に向け計画した。
- ・床面積を最大限利用した。5800㎡未満ギリギリ。
- ・玄関ホールから喫茶室、ショールームへアプローチ。
- ・地下1階の機械式駐車場の面積範囲を30台分を考慮して500㎡程度とした。

こうして挙げてみるとマイナス面が多い。しかし合格しました。

合格した要因は見切り発車をしなかったことだと思います。エスキース時間を3時間と決め、最低でも2プラン以上考えその中から条件的に良いプランを探しました。製図には決まった答えがないと思います。しかし優先順位があります。例えば多少構造的バランスは悪いが、環境の良い事務室を北側と西側に向けるとか。少しの減点は覚悟で、重要な条件を満たすようなプランを試験元は求めているはずで。

◆家族に感謝しています。7年も支えになってくれた奥さんに感謝です。勝利の女神の娘にも感謝です。笑顔が励みになりました。娘がいなかったら合格できていなかったでしょう。この試験は1年に渡り勉強し合格を待つ、精神的にも肉体的にも非常に辛い試験です。私は合格まで7年かかりました。もともと試験が得意だった自分ですが、ここまで長くかかるとは思いませんでした。学科4回、製図2回の失敗。私のプライドはズタズタでした。しかも後輩がどんどん合格していく中、職場での立場も辛くなって行きました。頭の隅には必ず試験が引っ掛かっていました。学科製図.comのおかげでようやく合格。プライドを捨て、自分を見つめ直したからこそ合格できたのだと思います。最も自信になったのは独学で合格したこと。自分自身の力で勝ち取ったこと。これからどんなつらい仕事があったとしてもなんとかなる力を得たような気分です。あと1カ月ぐらいは浮かれようと思います。

あー本当に良かった。もう一度やれと言われても合格できる自信がありませんよ。

◎ テキスト類・h21 実践課題集全 4 課題、h21 エスキース読本、h21 精選課題集全 4 課題

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

来期へのご要望 = 引き続きすばらしいテキストや問題を作成して下さい。

<zone>長文でのご投稿ありがとうございました。「普段から試験を考えないようにすること」と「普段から試験を考えようとする事」はある意味同義です。その意味を考えつつ自分自身で工夫されている点が特筆に値します。これからも独自の道を切り開いて下さい。合格おめでとうございました。

■茨城県 2 回目 前半戦からの通信添削生 学科製図.com のみ 講習会参加アリ 30 代 男性 O 型

★課題を解く際に、なるべく試験形式でやるようにしました。添削も、初見で解いたものを送り、後で熟考するようにしていました。そうすることで、本試験での癖がある程度あぶりだせました。また、特に通信添削の課題は、クオリティーが高いので、3回ほど解いてみましたが、解くたびに異なる一面と、いつも同じ一面があつたためになりました。

● zone 先生からは、「本試験では3回ほど、だめかもしれないと思うポイントがある」という事を教えていただきましたが、これが分かっていたことで、かえてリラックスして試験に臨むことができました。また、学科製図の高地トレーニング(難題を解く練習)のおかげで、本試験と対峙した瞬間、これなら何とかできる！と思えたことも良かったと思います。

◆昨年不合格となった時の悔しさと共に、製図試験中心の一年でした。弱気になったときもありましたが、zone 先生や SNS メンバーの方々の前向きな姿勢に励まされ、前進することができました。本当にありがとうございました。

これからも、合格に慢心することなく、前に進めるようにがんばりたいと思います。

◎学科製図といえば、やはりエスキース。身に付けるには、やはり通信添削がお勧めです。「手を動かして考える」製図試験に留まらないスキルで、色々な場面で役に立ちます。講習会や、シンクロ二模試は刺激が得られますので、独学の方には特にお勧めです。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

来期へのご要望 = 今の手作り感がいいですね。

<zone>学科製図.com をわかっていただいている方のコメント大変うれしいです。そうなんですよー、そうそう！って感じで読ませていただきました。本当に合格おめでとうございます。そしてこれから勝負です。

■神奈川県 4 回目 後半戦通信添削生 資格学校+学科製図.com 講習会参加アリ 30 代 男性 A 型

★ ①課題文の「読み解き」-読み慣れると、読み落としてしまう恐れがあり。初心で読み解く。

②「提出」は合格に対する執念-どんな図面でも、恥ずかしいと思わず提出した。

そうしないと指導者として、アドバイスのしようがない。自分の経験値が上がらず、一番困ると思って学習した。

● ①「安全優先」で解く

今まで、これなら大丈夫だろうと解いたが、大きく失敗してきた。勇気を持って解くのは危険、合格するために優先順がある。「事故」を触れないように「安全優先」で解くのが大切だと思った。

②課題文に従って「書き込む」

書かなくてはならないものを全て書き込むではなく、正しく課題文に従って書き込むことが大切だと思った。

例1)

・意外と間際らしい・間違いやすい内容

オフィスAは机の配置、オフィスBは照明器具の配置等

例2)

・意外と書き込み忘れる内容

避難経路、車スペース、排煙機、セキュリティゲート等

例3)

・意外と書き込んだ方が良い内容

避難経路に「重複距離が30m以内となるように計画とした」等

◆ 一級建築士は曖昧な試験でもあった。ほとんど運で勝負するような試験でした。精神的に疲れました。

◎ 講習会でしよう！ 1回しか参加していないのに資格学校と違ってオープン・家庭的だったのが衝撃でした。

テキストも通信教育等の課題も何でも見せてくれました。非常に効率的な学習システムでした。

通信教育も凄い！ 大学受験のZ会のような。無駄が無く、質が高いです。

満足度 = まあ、この程度の内容ならよいと思う

来期へのご要望 = ちょっと課題文に誤字・脱字が多いかな…。通学制もあると最高ですね。

<zone>東京には東京 zoneton 塾という通学制の塾も開講していますが、ちょっと神奈川からは遠いですね。

Z会=z会 会かもしれませんね。合格おめでとうございました。

■神奈川県 2 回目 メルマガ読者 資格学校+学科製図.com 40代 男性 O型

★資格学校の講座をメインに、パーツ集を活用しながら学習を行いました。パーツ集については1/200、1/400両方で書写、記憶を行いました。知り合いから学科製図 COM さんの情報を貰っていたので、それをエスキースするというよりは、どのような点で問題が作られているのか？ の分析を中心に、いわば復習する事をメインに学習を進めました。

● 私的な事ですが、試験2週間前に悲惨な出来事があり、悲しみにくれていました。それでも何とか学習を続けてはいましたが、受験すら諦めていた状態でした。両親からは今年は止めたら？とも言われていましたが、学科から頑張ってきたものを捨ててしまうのはとても惜しく思われ、ダメ元で試験を受けに行きました。

当日は資格学校の用意したバス等は利用せず、電車で向かい、駅から山を登って受験会場に行きました。悲しみ切っていた事。そして当日歩いて会場に向かった事で気持ちに余裕ができ、プレッシャーは全く感じずいつもの通りのエスキースをたんとこなせたのが勝因だったと思われま。

◆ 資格学校の添削を受けていましたが、実際の試験よりはるかに難度が高かったように思えます。21年試験に関してはきちんと条件通りに収められれば比較的プランの自由度は高いと思われたので、パズル的なこれまでの試験よりは遥かに解きやすかったと感じました。

◎ パーツ集。作図実演 DVD

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

正規の受講生ではないので、何ともいえないですが。。。パーツ集の改定はそろそろ必要かと思われま。

<zone>悲しみを乗り越えての合格おめでとうございました。長い人生ではいろんなことが重なり合いますからね。

パーツ集についてのアドバイスありがとうございます。しかし、あくまであれはサンプルであることが重要だと思っています。オリジナルパーツ集を作ってもらうことが目的ですから、今のところ更新する予定はないです。

■神奈川県 3 回目 アイテム購入者 資格学校+学科製図.com 40代 男性 A型

★ 去年(H21)の試験は、学科からの受験だったので製図試験の準備が短かったことや諸事情により勉強できる時間が非常に限られていたため短期集中したこと(学科の受験を断念しそうになりました。)、過去の受験経験と学科製図.com のメンタル面の強化の蓄積よって合格することができたと思います。メンタル面の強化ですが、学科製図.com の資料によって去年の試験の内容が単純であることと、何をやるべきか、また実務家向きであることが示されてありましたので、今までの知識と経験を生かせることを確信でき、日々の勉強に生かしたことが勝因です。

● 試験問題を見て、完成図がイメージできた事と、専門知識(構造設計)の部分で作図と記述がバランスよく表現できたことです。

◆ 1998年にアメリカ留学から帰って来て11年でやっと合格できました。私が留学した頃(1990年)は、学科は独学して、製図は資格学校に行って作図の練習程度で受かるという記憶があり、帰国してから何年もそのイメージが抜けず無駄に受験していました。学科製図.com との出会いがあったからこそ、製図試験3度目で受かったと思いますし、この何年もの間の蓄積は、単なる試験勉強の知識の蓄積ではなく、建築を考えることの礎となったと思います。

合格したことによって構造設計者である私が、単なる構造設計者ではなく夢を持った構造設計者に生まれ変わるきっかけとなった気がします。

◎ テキスト類:テキストは、他の資格学校等で出されてる内容を超越して優れていると思います。また、エスキース読本は、製図試験の最強の羅針盤になると思いました。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

<zone>アメリカから観ると不思議な制度ですよ。これが日本の制度の特徴かもしれません。これからは構造設計者としてがんばって下さい。(構造一級建築士もありますけど…)合格おめでとうございました。

■東京都 3 回目 後半戦通信添削生 学科製図.comのみ 30代 男性 O型

★ 前2回は資格学校に通っていましたが、エスキースが「できるようなできないような」という曖昧な状態で描き上げて、なんとなくできたような気持ちになっていました。結局本試験では、緊張もあって、うまくまとまらず、2回ともランク4でした。その反省から、H21 学科試験の後、知人の薦めで知った「エスキース読本」でエスキースから押さえたことが、勝因だったと思います。

「エスキース読本」で手順や所要室、要点の読解の方法が理解でき、その後、通信添削を受け始め、解題などでエスキースを固めながら、試験直前は「どんな課題でも1時間半でまとまる」という手応えを感じることができていました。

あとは、「3時間で描き上げる」ために、課題とは別に、断面だけを描いたり、伏図だけを描いたり、コアだけを描いたりして、ハンドスピードを上げていきました。テキストは、どれも何度も見直しました。その中で、自分のh21製図のベースを支えたのが、「面積によるコアのパターン」と「パーツ集」でした。

● 最後まであきらめなかったことだと思います。

想定タイムスケジュールが、エスキース2時間、要点1時間、製図3時間、残りチェック。で考えていて、要点が終わった時点で、少し速いペースだったので「いける！」と思いながら、製図に突入。ところが、残り1時間くらいで、とにかく多い描き込み要求に、思ったように図面が進捗せず、非常に焦っていました。「どれだけ減点を小さく(ゼロではなく)できるか」「描いてないと最大減点」と思っていたので、間違いを恐れず、とにかく漏らさず描き入れました。DVD で見た「描いたら課題文を塗りつぶす」でチェックしたので、漏れはなかったと思います。

◆ 自分のうれしさよりも、家族や両親、友達など、周囲の人たちが思いのほか喜んでくれて、そのことで「一級とれたんだ」という実感がわきました。と同時に「そういう資格なんだ」と気持ちが引き締められました。

◎ 各テキスト、DVD、どれもおすすめです。

満足度 = まあ、この程度の内容ならよいと思う

来期へのご要望 = 上欄の満足度で、1ランク下げているのは、「耐震壁か純ラーメンか」で、どう考えればいいのかということが、正直、よくわかりませんでした。本試験での出題の仕方に注意するとし、基本的には「純ラーメンで」というスタンスだったと思います。実際、本試験では「耐震壁付きラーメン構造としなければならない」と読めそうな出題でした。悩みましたが、ほとんど押さえていなかった、「耐震壁」で計画をしました。添削課題などで「耐震壁付きラーメン構造とする」など決め打ちした課題があってもよかったのでは？と思いました。(自主的に耐震壁で解題すればよかったですけど・すいません)

蛇足ですが、再現図を提出していないので、自分の製図で気になった事項を列記します。

不安だった要素

- ・給水設備なし(要点にもまったく記入なし) ・避難経路がデスクを横切っている。
- ・耐震壁が若干不足か。 ・伏せ図が2階になっている。(一部、1階の屋根スラブを描いてしまった)
- ・荷さばきは、自動車ショールーム専用で計画した。 ・地下駐車場は3グリッド分しか確保していない。
- ・オフィスの奥行きが16m(8x6グリッドで計画) ・伏せ図に、壁・耐震壁・階段の段を表記せず。

良さそうな要素？

- ・ターンテーブルから建物への動線を確保した。 ・自動車の搬入口を明記した。
- ・エントランスホールの一隅に「ラウンジ」と明記し、ソファを描き込んだ。
- ・住宅側へは開口を一切設けていない。(南面コアの片側コアで計画) ・敷地の植栽、屋上緑化を描き込んだ。

<zone>合格おめでとうございました。耐震壁については、最後まで学科製図.comの指導方針を貫きましたが、ちょっと意地になっていた部分がゼロではなかったように思い、反省しています。ただ、実際の製図試験であのような出題形式での耐震壁(耐力壁)がどの程度理解を測るのに有効なのか、全く疑わざるを得ません。結局、純ラーメンで通した方が計画の要点もすっきりしたと思います。

■埼玉県 2回目 アイテム購入者 資格学校のみ 30代 男性 O型

★ エスキースに自信が無かったので、(まとまることはまとまりますが、時間がかかる)学習期間前半は作図のスピードアップを心がけました。最終的には一式を平均2時間で作図できるようになりました。(もちろん、質にもこだわり講師の方にこの図面では採点者は落とせないと頂けました。)作図に自信がついてくると、エスキースにも余裕が出てきてまとまる様になってきました。後半はエスキースに的を絞って、なぜこういうプランになるのか？こういう場合はどうしたらいいのか？今年の課題テーマなら出題者は受験者に何を聞きたいか？など試験の本質を理解するように心がけました。資格学校の課題をこなしながらも、疑問点があったら学科製図.comのアイテムで補強していきました。

● 試験当日、緊張はしませんでした。「一丁やってやるか！」ということしか頭にありませんでした。積み重ねたものに満足感があったので、これでダメならしょうがないと開き直りもありました。とにかく落ち着いて、自分の力を出し切れたのが勝因だと

思います。

◆ まわりの仲間のランクをみると合格、不合格の差は紙一重であるのがわかりました。自分はまわりに支えられて、運よく合格できたので、これからがスタートラインだと思って頑張りたいと思います。

満足度 = まあ、この程度の内容ならよいと思う

<zone>まず自分自身の戦いなんですよ。それができていることが重要なんです。合格おめでとうございました。

■静岡県 2 回目 後半戦通信添削生 学科製図.com のみ 講習会参加アリ再現図アリ 40 代 女性 B 型

★ 申し込んだのは 全部でエスキースステップコース(前半戦)、学科製図の精選課題4題、実践課題4題、後半通信課題5題+模試です。その間に 講習会も東京3日、名古屋1日 参加しました。

1. 前半戦でエスキースステップコースでエスキースの手順とポイントの抽出を学習したこと
2. 1課題で何案も解き 可能性を追求したこと
3. まとまった時間の取れる週末は 一式図を作成しましたが、平日は課題、解題、回答例、計画の要点集を A4 版にコピーしたものを製本いつも携帯し空き時間に目を通していました。(製本作業はあとからヤミツキに。。。笑)
4. 学科製図 com メンバーズサイトで知り合ったメンバーと自主勉強会を通して課題や勉強方法の意見交換をしたこと。講習会で先生方に直接お会いしたこと。 ”4”が一番大きいです！！

◎ 課題発表前に エスキースステップコース と zone 先生の自家製 DVD でエスキースの基礎、手順を学習できたこと。通信コースの方も 講習会は 意見交換や同じ目標の仲間ができてよいですよ。自分も黙々と勉強する予定??でしたが 先生やメンバーの皆さんのおかげで大変なはずの試験勉強がなんか楽しくできました。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

<zone>色々ハラハラさせられましたが、蓋を開けてみるとぶっちぎりの合格でしたね。細かくチェックしたり裏を取る調べ方が非常にこの試験対策としてはよかったのだと思います。合格おめでとうございました。

■兵庫県 2 回目 アイテム購入者 資格学校+学科製図.com 講習会参加アリ 30 代 女性 A 型

●エスキースの時間をしっかり区切って、作図にかかったことが、良かったのだと思います。いつも、エスキースで悩みすぎていたで。。

◆精一杯、頑張っ、努力してきたことがようやく実になりました。合格したことによって、設計者として、初心に戻って、スタートラインにたつて、ますます頑張っ、行こうと強く思うことができました。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

<zone>設計者として次のステップに向かいましょう！ 合格おめでとうございました。

■兵庫県 4 回目 メルマガ読者 資格学校のみ 30 代 男性 A 型

★ 資格学校 1 本での学習です。資格学校の授業は必ず出席、課題は当日に完成させ其々の課題特徴と自分が間違いを起こしやすい点を徹底的に潰すように課題エスキースを 1/400 に再エスキースし相互比較が一目で出来るようにデータ整理を行って自分なりの学習しやすいやり方で学習しました。製図に関してはまず図面の正確性を時間がかかっても向上させ、印象度とスピードを早い段階で習得するように学習しました。また、時間があつたのでオールフリーハンドでも作図出来るようにしておけば安心です。

● 4 回目角番受験であつたことから、緊張と焦りだけ気をつけることに終始しました。と言っても、どうしても緊張、焦りは抜けません……。でしたので、同じ学校での生徒さんと試験前は会話をしリラックスし挑んだことが最大の勝因だったでしょうか。学科製図.com さんはメルマガ購読でしたが、同じ境遇のメンタル面で支えとなりました。

◆ 2 級建築士からの受験で苦節 7 年でした。

新試験制度になり私が一番感じたことは少しのテクニクと多くの実務経験を求める試験に方向転換をしたのかと

思います。合格といっても新たなスタートであり、まだまだ卵であるのは間違いないため、より一層の努力がこの合格を意味あるものとすると思います。でも、合格してほんとに努力が報われたと感じました。

<zone>合格おめでとうございました。メルマガのご購読ありがとうございます。ご友人にも教えてあげて下さいね。

■静岡県 2 回目 メルマガ読者 資格学校のみ 30 代 女性 B 型

★疑問点は、どんな小さなことでも納得いくまで講師に質問しました。他の人の図面を見たり、意見交換をしたのがよかったと思

います。資格学校の答案例はきれいにまとまっていますが、他の人が苦し紛れに作ったプランから学ぶことも多いと思います。答案返却時、講師が他の人に指導しているのを一緒に見たのが勉強になりました。

●周りの様子を見たこと。みんな同じ問題に取り組んでいる、焦っているのは自分だけではない、と思い、落ち着くことができました。トイレに二度立ったことも気持ちを切り替えることができ良かったと思います。学科製図.com のメルマガは、メンタル面で助けになりました。ただ、宣伝的要素が増えてしまったのが残念です。

◆私は、ショールームがメイン道路に面していませんでした。ターンテーブルも機械式駐車場も屋外でした。資格学校でも、合格は厳しいと言われました。自分でもそう思いました。今回角番で 1 年製図に打ち込み、多大な努力と時間とお金をかけ、この試験を最優先にやってきたのに、本番で思うようにできなかった自分が情けなく、しばらくは立ち直れず落ち込みました。でも合格できました。本当に、結果が出るまで分かりません。努力が報われ、とても嬉しいです。

◎満足度 = まあ、この程度の内容ならよいと思う

<zone>合格おめでとうございました。メルマガは現在大きく見直しをかけていますが、お伝えしたい情報が多すぎて読み物としては面白くなくなっているのがつらいところです。私も重々承知しておりますのでよりメンタルにも充実したメルマガにしていきたいと思っています。ご購入ありがとうございました。

■沖縄県 3 回目 アイテム購入者 資格学校+学科製図.com 30 代 男性 O 型

★18 年の学科に合格し、18、19 年度の製図試験は闇雲に力いっぱい頑張ったが合格できなかった。何が足りないのか、何が原因だったのかを整理しないまま、資格学校の問題を解いているだけであった。特に、初年度はエスキースの工の字もわからなかった為、インターネットでこのサイトに出会い、「エスキースアプローチ」を購入し、エスキースの考えを理解し、「3 時間製図(商品名を忘れてしまいました)」により、図面の描き方を覚え、本番に臨みました。学科製図.com があつたおかげで勝負できたようなものでした。しかし、ZONE 先生がメールマガジンでも書いていたように、結局は自分との戦いなんだと気がついたのは今回からでした。自分の仕事に取り組む姿勢がそのまま試験に現れてしまっているのだと。自分は細かいミスが多く、19 年はランク 2 だったので、ミスを少なくすることが合格への条件だと理解しました。自分はミスをする人間なんだという前提から、それをチェックし、修正するように心がけました。

また、回答についても問題作成者側が作って欲しい建物像があるので、文章を読み込みながらそれを具体化していくという考えも今年から出てきました。そうすると、外構計画や建物の配置、形状などが上手く形にできるようになりました。海豆研究所の「失敗しちゃったノート」は参考になりました。学科製図.com でも似たようなものの活用をされてはいかがでしょう。失敗を見直すことで、かなりのレベルアップをすることができました。

(注: 学科製図.com の方針としては、他のサイトがいいものをやっているのであればそれを真似するのではなく、そのことに敬意を表し、同じような企画はできるだけやらないようにしています。かぶってしまうこともあります。)

●エスキースは 2 時間程度でまとまったので、ゆとりをもって文章問題から回答しましたが、余裕があると思い込み、文章に 40 分程度の予定が 1 時間もかけてしまい、大幅に時間配分が狂ってしまった。しかし、文章から書いていたため、製図の際に気をつける項目チェックができ、図面に反映できた。文章で書いたことは最低図面化することを心がけた。最後は屋上の設備機器は手書きで殴り書きであった。描かないよりは絶対によかったのだろう。製図もあせってしまい、1階を 5m、他の階を 3.75mで描いた為、高さの計算間違いもあったが、何とか修正できた。機械式地下駐車場は日建では対応していなかった為、30 コマ(1 スパンに 2 台)とし、1 コマ分昇降路の計 31 コマを地下で計画した。1階から上は 30 コマであったが、地下は面積に含まれない設定だったので、クリアできたのだろう。

最後の 5 分で本当に間に合わないと思い、その瞬間トイレに行きたくなくなってしまったが、そのままではまずいと思い、トイレに駆け込み、泣きそうになりながら殴り書きで仕上げた。人間、絶望感と恐怖があるとトイレに行きたくなるのを実感した。試験が終わった瞬間全身の力が抜け、片付けをして帰ったが、受験場所の大学校舎を出たところで製図板を持っていないのに気がつき、取りに帰ったぐらい気が抜けていた。しかし、結果合格。最後の見直しができなかったが、要所でチェックを入れていたのがよかったのだろう。

◆ やっと合格できました。学科を受け始めてから 8 年目。製図は 3 回目でした。平均年齢のよりは 1 歳若い 31 歳でしたが、体力も精神力にもきつい試験でした。これから仕事に、家庭にその力を注ぐことができます。21 年の 12 月には長男も誕生しましたが、子供ができるので後が無い。というのも試験勉強への馬力にもなったのではないかと思います。試験の発表が子供の退院の日と重なったことは運命的なものを感じます。

1 級建築士を取ってから、次へのステップに進むことができます。この試験で培った、勉強する癖が無くなってしまいう前に次に活かしたいと思います。学科製図.com の皆様には大変お世話になりました。添削などはできませんでしたが、とても素晴らしい考え

と、教材には助けられました。ありがとうございました。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

<zone>受験生は多くの人たちに支えられています。そのことが本当にわかるのは受験勉強が終わったときからです。これからは家庭に職場に一級建築士としての自覚と誇りを持って臨んで下さい。合格おめでとうございました。

■神奈川県 5回目以上 後半戦通信添削生 学科製図.com のみ 講習会参加アリ再現図アリ 30代 女性 O型

★ 1)今年から増えた記述問題の対策として、学科試験で使用した参考書の設備・構造・環境などの部分を抜粋して、自分なりの文章をまとめたこと。また、文章に割く時間は10題で1時間程度と考え、1題を5分程度で仕上げる練習をしたこと。

2)情報に振り回されないようにした。他の資格学校へ行っている人から問題や資料をたくさん貰ったが見ないようにした。自分が決めた分だけ勉強をし、広く浅い勉強ではなく狭く深い勉強にした。

3)通信添削で公開される他人の図面を自分なりに添削した。自分が思いもよらなかったことや、参考になる図面の描き方を毎回メモにまとめいろいろな人から技を盗んだ。

4)同じ通信添削を受けている友人と個人的にPDFデータを送り合い情報交換やディスカッションをメールでやりとりした。

● 1)できるだけ平常心保ち自分を見失わないこと。

試験当日は誰もがパニックになるし、私も過去の製図試験ではパニックになっていました。

今年の試験は、一週間前から「冷静でいられる人が合格する人だ。当日に自分を客観視できる人が合格だ。」と言い聞かせていました。

2)当日は2時間過ぎて自信を持ってエスキースが終わり、さあ記述問題に取りかかろうと思った矢先、ナナメ前の受験生のエスキースをチラ見してしまい、全く私と外形の違うプランを見てしまいました。

その途端「あっ！この人のプランがいいかも！？」と悪魔が私に入り込み、自分のプランに自信があったのにかかわらず、ナナメ前の受験生の建物形状でエスキースをやり始めてしまいました。

5分後にハッと我に返り自分に「何やってんだ～！？」とツツコミ入れて冷静さを取り戻しました。

3)記述は解答用紙をぎっしり埋めた方が印象が良いだろうと思い、覚えたボキャブラリを全て使い、焦りながらも採点官に読んでもらえるように丁寧な字で書きました。

4)試験終了の合図があっても照明レイアウト・家具レイアウト・植栽等を記入していませんでしたが試験官が回収に来るまで書き続けました。

◆ 5回目の製図試験でやっと合格できました。

2回目の製図試験で角番落ちしドン底に落ち込んだ時にメルマガの「試験に負けても人生に負けるな！」の言葉は救いになり今年の合格まで支えとなりました。お蔭様で今年の合格まで諦めないで頑張ることができました。

3度目の製図試験から学科製図.com と出会い3年間もお世話になってしまいました。zone先生はじめ、信頼できる先生方と出会えて勉強することの楽しさを教えてもらえました。出会えた仲間達、私よりも遥かに家庭や仕事で忙しい皆との何気ない会話で自分自身の未熟さに気付かされ励まされました。また、すでに合格した仲間と今年学科がダメだった仲間から応援や励ましを沢山もらい最後まで支えてもらいました。先生方はじめ仲間達に感謝の気持ちでいっぱいです。どうせ勉強するならひとりでストイックにやるよりも楽しいほうがいい！！長かった受験生活で根性を付け視野が広がったように思います。今まで心配をかけた家族に感謝してこの先少しずつ恩返ししたいと思います。

◎ エスキース読本は素晴らしいテキストだと思います。

ゾネ先生の今年の課題に対する理解の深さと情熱が注ぎ込まれたテキストだと思いました。講習会は参加できる圏内にいれば参加する価値大です。資格学校とは違う視点で、目からウロコの講義はハッと気づかされるが多かったです。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

来期へのご要望 = 通信添削、他の受講生が作成した記述問題もPDFでアップしてほしいです。

<zone>私としては、最後にこのようにまとめた文章を書けるようになったことがとてもうれしいです。初めて学科製図.com に来た頃は恐らく文章力ゼロだったので、その頃から考えると隔世の感があります。これからはしっかり一級建築士としてがんばって下さい。合格おめでとうございました。

■福岡県 初受験 後半戦通信添削生 学科製図.com のみ 講習会参加アリ再現図アリ 30代 女性 B型

★エスキース読本とパーツ集を基本的に活用して勉強しました。最初はエスキースの方法もわからなかったのがエスキース読本を片手に回答例のエスキースのトレースをしました。エスキースに慣れてきてからもエスキースフローを見ながらエスキースをしていまし

た。中盤はパーツ集のトレースでコアの形状を暗記してレントブル比と面積毎に基準階を書き出しました。これで、だいたいの基準階の形状を覚えることができました。講習会で zone 先生に言われた事を実践したことが正解だったと思います。試験直前には、今までの課題の問題と回答例を全部を A4 に印刷して部門ごとに色分けしました。敷地と部門の関係を全課題とおして確認しました。何度もくじけそうになりましたが、添削中の一言やレッドカードに励まされながら頑張れました。

●前日の zone 先生のメールを思い出し落ち着く事ができました。当日の状況をシュミレーションできたのが良かったです。実際、山が何度かかいたのですが「そんなこともあるある」って思えました。早めに準備をして、お弁当食べて、線を引く練習をする事で周りを気にせず落ち着いてできました。決定的要因・・・なのはわかりませんが・・・とにかく計画の要点はたくさん書きました。それと、排煙設備について主張されていたのでとにかく排煙オペレータをしつこくくらいに図示したり、会議室の間仕切壁を H2000 程度にすることで排煙をアピールしました。「私、知ってます！！」と言わんばかりだったと思います。

あとは・・・上下階不一致をなくす書き方をして、見直しをしっかりと時間を取れるようにしました。

◆何年も学科で足踏していたのでやっと、合格できました。今回、製図は初めてでどうしたらいいのかまったくわからなかったと言われるとおりにしようと思いましたが、ほんとうに親身に教えて頂き合格する事ができました。ダウンロードした資料をプリントアウトしてファイルしているのですが私には一番のテキストだったと思います。今でも宝物です。

毎日のメールやレッドカードの内容は今後の人生にも役立つ言葉がいっぱいです。

講習会で一緒に頑張る人たちの話を聞いたのもよかったと思います。本当にありがとうございました。

◎ 通信添削課題・講習会・エスキス読本・パーツ集・エスキス DVD・作図 DVD

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

来期へのご要望 = 今年度から採点方法が変わっているとの事で・・・来年度の為にも採点基準の分析をよろしく願います。

協力できそうな事は何でもしますよ～。

<zone>学科トライの頃から知っていたのでよくここまで来て、初受験合格は素晴らしいです。毎回の図面でも精度が上がってくる感じを非常に強く受けました。これから本番ですが、ひとつひとつ問題点をつぶしていきながら精度を上げていく作業方法をこれからも積み上げていって下さい。合格おめでとうございました。

■香川県 2 回目 アイテム購入者 資格学校+学科製図.com 30 代 男性

★ 今年、角番で合格しました。合格の勝因は徹底的な復習と、課題発表までの時間を基礎力向上に費やしたことだと思います。昨年度は、総合資格に通いましたが、課題をこなすことのみで終わり、復習が全くできず、また基礎力(エスキス手順や製図力)を伸ばすことなく本試験を迎えました。製図試験を甘く見ていたということもありますが、本試験では結局、エスキスをまとめることができず、作図に突入。完成か未完成が自分でも良く分からないまま終了の鐘が鳴りました。結果としてランクⅢ。

年を超し、本格的に勉強を始める際に最初に行ったのが、基礎力の向上でした。具体的には、図面のトレース(同じ図面を最低 5 回)とエスキス手順の確立です。図面のトレースは、作図手順の確立と、ステップ毎の時間を意識しました。その際に、鉄腕作図テキストが大いに役立ちました。作図手順については、テキストの手順を参考に、自分で試行錯誤した結果、テキスト通りではありませんが、自分なりの手順を確立することができました。1 月からの半年で 50 枚程度描いたと思います。最終的には、単純なトレースだと 2 時間弱で書き上げるスピードを身につけました。

また、エスキス手順は、エスキスステップコースを受講し、これも自分なりの手順を身につけることが出来ました。

当時は、まだ国交省の発表前でしたので、これまで通りの方法での学習でしたが、今思えば新試験でも十分対応できる内容だったと思います。よく、「課題がわかるまでは勉強しても意味がない」という人もいますが、決してそんなことはありません。課題がわかってからは、今までしてきた事をあてはめるだけです。ちなみに、その人は、今年も落ちています。課題発表後は、昨年同様、総合資格の短期コースに通いましたが、昨年と全く違い、基礎力が身につけていた分、最初の週から確実に復習できました。それこそ前半は、授業が退屈に感じるほどに・・・後半は、エスキスが楽しくなりました。わざとありえないエスキスをし、計画が破綻することを確認しながら、やっぱりね、と思ったり。合格したから言える事だと思いますが、エスキスが楽しく感じようになれば、もう合格圏内に入っていると思います。後は、学校や講習などで、皆の図面を採点するつもりで見たことです。悪い所を指摘し、良い所を吸収する。結果的に自分のミスにも気づきやすくなります。これは一人ではできないことです。合格発表後、各種掲示板では、「ほとんどミスしていないのに落ちました。納得いかない」という書き込みを何度か見ましたが、それは違うと思います。

その方は、ミスをしていないのではなく、ミスに気付かない程度の実力なんです。事実、私も試験終了後、様々なミスに気づき始め、試験一週間後は、すでに諦めかけていました。でも合格しています。私のまわりでも、先に合格された先輩方で、「一番出来なかったと思う年に合格した」と言われていた方が多かったのですが、やはり、そういうことだと思います。大から小まで様々なミスに気づくということは、それだけで十分実力があるという事です。

課題発表までの基礎力向上、課題の徹底した復習、採点する力をつける。これが私の勝因です。

● 試験前一週間は、これまでの課題パターン(20 課題程度)を頭に再度叩き込みました。主に道路と敷地形状、及び基準階パターンとの組み合わせを中心に行い、これだけやって落ちるわけが無いと自分に言い聞かせながら。その甲斐があつてか、エスキスはスムーズに進みました。課題を一度読み終えると、ゾーニングは即座に決まり、大雑把に面積とレントابل比、高さ制限を確認した後は、迷いなく進めることができました。これまでの課題でも、明確なゾーニングと歩車分離、単純な動線を心掛けてきた賜物だと思います。ただ、北西の道路斜線だけは迷いました。公園緩和が使えるはずだが、…怖い。念のため 2m バックで決定。お陰で、南側に若干しわ寄せがきましたが、機械室や駐車場入口をもってきて解決させました。当日の勝因の一つにエスキス完了時の確認があります。これで大丈夫、よし作図へ…の前に一通り確認したことが良かったと思っています。面積、高さの再確認、要求事項との整合や理由付け、それに伴う記述のアピール探し、など。この作業に 30 分かかりました。結局、この作業まで入れて、エスキスに 2.5 時間かかりましたが、その後は迷いなく、記述と作図に集中できました。そして、作図後半。文字入れ(机や外構などの要求事項含む)を始める段階で、残りは確か 1 時間 15 分だったと思います。この段階では、十分な書き込みをするなら 1 時間 30 分は欲しいところでした。伏図を点線でかいたため、その分、時間がおしていました。普段なら伏図など 15 分で終わるのに…。国交省め…と思いつつ書き込みへ。この時に鉄腕作図テキストで学んだことが役に立ちました。

◆ 一級建築士への想いは、学生(建築学科)のころからありました。建築学科に通う学生ならば、当然だと思います。

いざ、社会人になり、受験資格を得た一年目に早速勉強をしましたが、業務に追われ挫折。その生活が 7.8 年続きました。仕事も施工管理であり、一級建築施工管理技士も取得していたので、特に一級建築士は必要としません。だんだん一級建築士へのモチベーションが下がる中、転職が訪れました。といっても転職ですが。転職先(内勤)では、私のまわりほぼ全員が一級建築士でした。有る上司から一言。「建築やってて、なんで一級目指さないの？」

学生の頃の想いを思い出しました。結局それから 3 年かかりましたが、やっと皆の仲間に入ることができました。

◎ 前述しましたが、角番であれば課題発表までの間は、作図力とエスキス手順の確立が大事です。学科製図.com の作図テキストとエスキスコースは非常に役立ちました。構造・設備のテキストもよかったです。それは課題が発表されてからでも十分だと思います。あとは、コミュニティ。私は積極的に書き込みする方ではなかったですが、講師への質問などでお世話になりました。学校の講師とは、異なる観点で、時には正反対の答えである時もあります。大事なのは、自分が納得することです。納得した方を覚えれば良いと思います。もともと答えのない試験なんですから。参加して決して損はありません。皆の意見を読むだけでも刺激になります。

満足度 = 学科製図.com の内容には大変満足している

来期へのご要望 = 耐力壁については、あまり意固地にならないほうが良いと思います。来年以降も構造に関する事項は要求されると思いますが、耐力壁については、「設ける意味がない、設ける必要がない」ではなく、「あえて設けるとすれば、このようにしたら良い」という方向が良いと思います。本試験でも、課題を素直に読んだら、やはり耐力壁は必要と判断してしまいます。確かに勉強すればするほど、この試験では耐力壁の適否は判断できないことがわかってきますが、それはそれで良い事なのではないでしょうか。

<zone>合格おめでとうございました。確実に力を付けていった感じが伝わってきました。特にミスに気がつける力という発想は私自身なかったため、新鮮な感じがしましたが確かにそうだと思います。

さて、耐力壁については、アドバイスの通りの部分もあり、今年からはもう少し柔軟に取り入れようと思います。

ようやくスタートラインです。これからは一級建築士としてがんばって下さい。

以上、ランク1 合格者の方々の声でした。